

2025

授業計画（シラバス）

杉野服飾大学 服飾文化学科
1 年次（2025 年度生）

【整理番号】

■専門科目■

- 【1】 服飾造形基礎Ⅰ
- 【2】 サステナブル・ファッション概論
- 【3】 ファッション画Ⅰ
- 【4】 ファッションビジネス概論
- 【5】 ファッション・フィールド・リサーチ
- 【6】 フィールドワーク(集中)
- 【7】 服飾造形基礎Ⅱ
- 【8】 西洋服飾文化史
- 【9】 衣服材料学
- 【10】 ドローイングⅠa
- 【11】 服飾造形応用
- 【12】 現代デザイン論
- 【13】 ファッション販売論
- 【14】 流行論
- 【15】 流通・商業入門
- 【16】 ファッション画Ⅱ
- 【17】 経営学入門
- 【18】 色彩演習
- 【19】 ビューティー・メイクアップ術A
- 【20】 ビューティー・メイクアップ術B

■初年次・キャリア■

- 【21】 学修基礎
- 【22】 文章表現
- 【23】 情報演習Ⅰ(学修ポートフォリオを含む)
- 【24】 情報演習Ⅱ(学修ポートフォリオを含む)
- 【25】 社会人基礎

■教養科目■

- 【26】 心理学A
- 【27】 心理学B
- 【28】 文学
- 【29】 日本美術史
- 【30】 西洋美術史
- 【31】 憲法
- 【32】 化学A
- 【33】 化学B
- 【34】 体育A
- 【35】 体育B
- 【36】 日本語表現Ⅰ
- 【37】 日本語表現Ⅱ

■教養科目〔外国語〕■

- 【38】 英語(総合)Ⅰ
- 【39】 英語(総合)Ⅱ
- 【40】 基礎英会話Ⅰ
- 【41】 基礎英会話Ⅱ
- 【42】 フランス語(総合)Ⅰ
- 【43】 フランス語(総合)Ⅱ
- 【44】 フランス語(会話)Ⅰ
- 【45】 フランス語(会話)Ⅱ
- 【46】 中国語(総合)Ⅰ
- 【47】 中国語(総合)Ⅱ
- 【48】 中国語(会話)Ⅰ
- 【49】 中国語(会話)Ⅱ
- 【50】 日本語Ⅰ
- 【51】 日本語Ⅱ

■学芸員■

- 【52】 生涯学習概論
- 【53】 博物館概論

履修科目単位内訳表

(服飾文化学科 2025年度生)

			修 得 単 位 数
専 門 科 目	必 修		59
	選択必修		6
	選 択		25
専門科目合計			90 単位
教 養 科 目	初 年 次 キャリア	必 修	14
	一 般 体 育 国際関係	選 択	12
	外 国 語	選択必修	8
教養科目合計			34 単位
総 合 計			124 単位

服飾造形基礎Ⅰ

水野 真由美

服飾文化学科 1年 前期 必修 (3単位 演習)

■授業の方針・概要

服飾造形のスカートに関する製図方法と基礎的な知識や技術を修得する。

■到達目標（学修成果）

服飾造形の基本アイテムとしてスカートのパターンメイキング、縫製方法を学修し、制作プロセスを理解する。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目、専門科目、服飾関係科目の初年次必修の演習科目、基本アイテムにおける服の構造を学修し、2年次以降へ繋げていく。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題によるが、14回目までに評価・解説のできるものは、授業内で返却する。小試験・レポート等の添削については、担当教員から、別途、返却の日程を伝達する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

ドレメ式原型、基礎テキスト、PATTERN MAKING Ⅰ、SEWING Ⅱ、電子教材

■参考文献

図解服飾用語事典、その他（必要に応じ授業、マナバコースで紹介）

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー、研究室については、第1回目の授業に指示します。

■備考

成績評価として、課題が未了の場合は、不合格とする。

進度により、日程および内容を変更する場合もある。予習・復習の時間は必要に応じ増減すること。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 水野	オリエンテーション 連携授業の進め方 電子教材の活用 著作権について 実習用具・縫製機器の名称と使用方法 原型	予習 シラバスを読む 復習 本時の見直し	60分
2回 水野	スカート各種 名称・パターン説明 スカート（グループワーク）について ポートフォリオについて スカート製図	予習 スカートの種類、名称 生地を調べる 復習 遅滞箇所を行う	90分
3回 水野	布について ミシン基本操作：直線ミシン	予習 地直しについて 製図の確認 復習 作業内容の確認 遅滞箇所を行う	60分
4回 水野	ミシン基本操作：ロックミシン 手縫い：まつり縫い4種	予習 手縫いの名h層を調べておく 復習 遅滞箇所を行う	60分
5回 水野	基本製図：スカート製図 制作について	予習 印付けについて調べる 復習 遅滞箇所を行う	90分
6回 水野	スカトリサーチ発表 スカート実物制作 型紙作成 布裁断	予習 縫製方法を調べる 復習 遅滞箇所を行う	90分
7回 水野	スカート実物制作 表地縫製 小試験	予習 表地の縫製方法について電子教材閲覧 復習 遅滞箇所を行う	90分
8回 水野	スカート実物制作 表地縫製 裏地裁断	予習 裏地の機能について調べる 復習 遅滞箇所を行う	90分
9回 水野	スカート実物制作 裏地縫製	予習 裏地の縫製方法を読んでおく 復習 遅滞箇所を行う	90分
10回 水野	スカート実物制作 スカートのあきの始末について	予習 縫製方法の確認 復習 遅滞箇所を行う	90分
11回 水野	スカート実物制作 あきの始末	予習 縫製方法の確認 復習 遅滞箇所を行う	90分
12回 水野	スカート実物制作 ベルト作り・付け	予習 縫製方法の確認 復習 遅滞箇所を行う	90分
13回 水野	スカート実物制作 糸ループ カギホック 仕上げ	予習 縫製方法の確認 復習 遅滞箇所を行う	90分
14回 水野	応用製図 スカート縫製方法のまとめ	予習 スカートの種類、製図をみておく 復習 遅滞箇所を行う	90分
15回 水野	スカート縫製評価 小試験 プレゼンテーション まとめ	予習 プレゼンテーション準備 復習 フィードバックされたものを確認する	120分

サスティナブル・ファッション概論

梅谷 知世、鈴木 桜子、井口 多恵子

服飾文化学科 1年 前期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

近年、私たちの社会や暮らしにおいて、「サスティナブル」な考えや行動が求められており、ファッション界においても最優先課題のひとつとなっている。

環境を守るファッションや人権に配慮し多様性を尊重するファッションを創造するために、そして服飾の歴史を伝え伝統を継承するために、私たちに何ができるのか。本講義では、ファッションにおけるサスティナビリティについて、さまざまな視点から考え、ファッション界における今日的課題を解決するための基礎力を培う。

■到達目標（学修成果）

服飾文化学科で学んでいく4つの領域「歴史」「レプリカ・修復」「衣のものづくり」「サスティナビリティ」の入門として基礎的知識を身につけていく。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は服飾文化学科の必修科目で卒業要件科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業のテーマに応じて課されるレポートについては担当教員が添削やコメントを付して返却します。（CampusMagic等利用）

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし。授業内容に応じて資料を配布します。

■参考文献

授業内容に応じて紹介します。

■オフィスアワー・研究室

初回の授業でお知らせします。

■備考

状況により、日程・内容を変更する場合があります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 梅谷他	オリエンテーション (梅谷・鈴木・菅野・井口)	予習：シラバスの確認	30分
2回 鈴木	歴史・文化をいまに伝えるファッション（欧米）	復習：授業を振り返り、ファッションの創造について考える	30分
3回 鈴木	歴史・文化をいまに伝えるファッション（日本）	復習：授業を振り返り、ファッションの創造について考える	30分
4回 鈴木	服飾文化研究の現場から（ゲストスピーカー）	復習：ゲストスピーカーの講義を振り返り、今日的課題を考える	30分
5回 菅野	服の形に込められた意味を探る（1） - 18世紀フランスの男性服を中心に-	復習：授業内容を振り返り、課題に取り組む	30分
6回 菅野	服の形に込められた意味を探る（2） - タイ少数民族の脚衣を中心に-	復習：授業内容を振り返り、課題に取り組む	30分
7回 菅野	衣文化を体感する - 歴史衣装の複製の試着と考察-	復習：授業内容を振り返り、課題に取り組む	30分
8回 梅谷	日本の服飾文化 一色・文様	復習：授業内容を振り返り、課題に取り組む。	30分
9回 梅谷	「ものづくり」の伝統と現代	復習：授業内容を振り返り、課題に取り組む。	30分
10回 梅谷	民族服飾とファッション	復習：授業内容を振り返り、課題に取り組む。	30分
11回 井口	SDGsとファッションの関係	復習：授業内容を振り返り、SDGsとファッションについて考える	30分
12回 井口	環境・社会・人権とサスティナブル・ファッション	復習：授業内容を振り返り、サスティナブルファッションについて考える	30分
13回 井口	ファッション業界におけるSDGsへの取り組みの紹介 (ゲストスピーカー)	予習：ゲストスピーカーの企業について調べる 復習：講義内容についてまとめる	40分
14回 井口	アップサイクルのモノづくり（事例紹介）	復習：授業内容を振り返り、アップサイクルのモノづくりについて考える	30分
15回 梅谷他	まとめ - ディスカッション-	予習：ディスカッションの準備	40分

ファッション画Ⅰ

福地 宏子

服飾文化学科 1年 前期 必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

ファッションイメージを的確に表現し伝達するために、人体のプロポーション・服の構造・生地や素材・服の型のみを描くハンガーイラストの表現を学び、人体と服についての理解を深めます。

■到達目標（学修成果）

- ・基本のプロポーション（8頭身）にそって、服のバランスを的確に描くことができる
- ・服の構造、ディテール、ハンガーイラストの描き方を修得できる

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシーでは必修科目となり、服飾造形の基礎力の向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各課題の添削の際にはコメントやアドバイスの記入をして、次回以降の授業で返却する。
課題によっては、返却時にクラスメイトの課題を閲覧する時間を設けて、意見交換やアドバイスを行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

ファッション画法

■参考文献

授業内で適宜紹介する

■オフィスアワー・研究室

【オフィスアワー】第1回目の授業時に指示する
【研究室】ファッション画研究室 研究棟2階 6025

■備考

- ・授業に必要な道具や参考資料は必ず開始前に準備すること
- ・進度により授業計画が変更になる場合もある
- ・学生へのインフォメーションはポータルサイトを利用します

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 各自	【教材、授業計画の確認】 【人体のプロポーション】8頭身の基本バランス	【予習】履修便覧を読んでおく 【復習】人体のプロポーションの反復練習	60分
2回 各自	【ポーズのバリエーション】片脚重心のポーズ	【復習】人体のプロポーションの反復練習	60分
3回 各自	【顔のプロポーション】正面、横、斜めの基本バランス ヘアスタイルの表現も含む	【予習】ヘアスタイルのリサーチ・資料収集 【復習】顔のプロポーションの反復練習	60分
4回 各自	【肌、ヘアスタイル、メイクの着色①】 画材の着色方法・画材の使用例（主にマーカー、色鉛筆）	【予習】課題仕上げに向けた資料収集 下描きの完成	60分
5回 各自	【肌、ヘアスタイル、メイクの着色②】	【復習】顔・ヘアスタイルのスケッチ	60分
6回 各自	【シャツ＆スカートの着装①】 ・着装ポイント ・生地の動き、シワの描写表現等	【予習】シャツ・スカートのデザインリサーチ	60分
7回 各自	【シャツ＆スカートの着装②】 ・シャツとスカートの種類を描き分ける ・着色	【復習】アイテム着装の練習	60分
8回 各自	【シャツ＆スカートの着装③】 ・着色、仕上げ	【復習】様々なデザインのシャツ、スカートのスケッチ	60分
9回 各自	【ハンガーイラスト①】 ・スカート（タイト、ギャザー、フレアー、プリーツ）	【復習】ハンガーイラスト反復練習	60分
10回 各自	【ハンガーイラスト②】 ・シャツ、ブラウス	【復習】ハンガーイラスト反復練習	60分
11回 各自	【ハンガーイラスト③】	【復習】ディテールのスケッチ練習	60分
12回 各自	【ワンピースの着装①】 ・ワンピースのデザインについて ・デザインバリエーション	【予習】ワンピースのデザインリサーチ	60分
13回 各自	【ワンピースの着装②】	【復習】アイテム着装の練習	60分
14回 各自	【ワンピースの着装③】	【復習】様々なワンピースのスケッチ	60分
15回 各自	・まとめ ・合評会	【復習】半期課題を振り返る	60分

ファッションビジネス概論

五月女 由紀子

服飾文化学科 1年 前期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

ファッションビジネスは、商品のクリエイションと顧客満足による企業の利益の両輪で実現する。21世紀になり、小売の業態転換、ネットビジネスの発展が顕著であり、コロナ禍以降さらに加速化した。服飾大学に学ぶ学生は、卒業後ファッション業界で働く割合が高い事を前提に、川上から川下までの基本的な業界構造、既製服が成立した歴史と背景、商品企画から海外生産の現状、海外展開、昨今伸びてきたオンラインビジネスと店舗の関係など、ファッションビジネスの基礎を学ぶ。担当教員の10年以上のアパレル企業での勤務経験を活かし、企業の事例を中心に展開していく。

■到達目標（学修成果）

第一にファッションビジネスの業界構造を把握し、ファッション商品がどのような工程を経て企画生産され、消費者の手に渡るかを理解する。第二に昨今のファッションビジネスの昨今の業界動向を理解する。ファッションビジネスの基本知識を獲得することを目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この教科は、専門選択科目の卒業要件科目となります。ファッション業界で働くために必要な、ファッションビジネスを理解する基礎力向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

複数回の課題をポートフォリオか授業内に提出してもらい、フィードバックをする。授業内提出物や時間外学修の課題提出の総合点を採点とする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

教員が作成した資料を配布するため、各自管理を行うことが必須である。

■参考文献

「ファッションビジネスⅠ 改訂版」(ファッションビジネス能力検定試験3級準拠)

財団法人 日本ファッション教育振興協会

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーの日時は授業初回に提示する。ファッションビジネス・流通イノベーション実習室(第3校舎3207教室)

流通イノベーション研究室(第3校舎3300室)

■備考

特になし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 五月女	ファッションビジネスの定義と特性	予習: シラバスを読む	30分
2回 五月女	繊維・アパレル業界の構造と職種(川上～川中～川下)① 川上のデザイナーの動画視聴	復習: 考察事案について、次回に向けて文献、ネットなどを調べて整理する。	30分
3回 五月女	繊維・アパレル業界の構造と職種② 川中～川下の事例	復習: 考察事案について、次回に向けて文献、ネットなどを調べて整理する。	30分
4回 五月女	日本のアパレル業界 川中+川下のSPA(アパレル製造小売) 業態への転換	復習: 考察事案について、次回に向けて文献、ネットなどを調べて整理する。	30分
5回 五月女	日本のSPAの商品企画の外部化 (OEMメーカー、ODMメーカーの機能補完と活用)	復習: 課題をポートフォリオに提出する。	60分
6回 五月女	日本のアパレル業界の歴史 日本のアパレルメーカー(アパレル製造卸)と百貨店の発展	復習: 考察事案について、次回に向けて文献、ネットなどを調べて整理する。	30分
7回 五月女	マーチャндаイジングとは アパレルMDとリテールMDの違い、多品種少量生産について	復習: 考察事案について、次回に向けて文献、ネットなどを調べて整理する。	30分
8回 五月女	日本のアパレル製品の海外生産の現状 中国、ASEAN、南アジアでの生産	復習: 考察事案について、次回に向けて文献、ネットなどを調べて整理する。	30分
9回 五月女	ファッションビジネスの歴史① パリのオートクチュール: デザイナービジネスの萌芽	復習: 課題をポートフォリオに提出する。	60分
10回 五月女	ファッションビジネスの歴史② パリのオートクチュール: ブランド戦略と香水ビジネス(シャネルの事例)	復習: 考察事案について、次回に向けて文献、ネットなどを調べて整理する。	30分
11回 五月女	ファッションビジネスの歴史③ プレタポルテとライセンスビジネス(既製服の大量生産、デイオールとサンローラン)	復習: 考察事案について、次回に向けて文献、ネットなどを調べて整理する。	30分
12回 五月女	ファッションECビジネスの発展 ECモールと自社サイト、さ(撮影)さ(採寸)げ(原稿)	復習: 課題をポートフォリオに提出する。	60分
13回 五月女	オムニチャネル、OMO(Online Merges with Offline) オンライン(EC)オフライン(リアル店舗)の融合	復習: 考察事案について、次回に向けて文献、ネットなどを調べて整理する。	30分
14回 五月女	店舗スタッフのオンライン接客 (スタッフスタート、ライブコマース等)	復習: 最終課題をポートフォリオに提出する。	60分
15回 五月女	まとめ: 未来のファッションビジネス、生成AI、3Dモデリング、メタバース、デジタルファッションなど。	復習: 課題を振り返る。	30分

ファッション・フィールド・リサーチ

大方 和則

服飾文化学科

1年

前期

必修

(2単位 演習)

■授業の方針・概要

都内の主要な商業施設の店舗調査(リサーチ)を通じて、現代的な商業施設の特性やトレンドの体験的な理解を進めていく科目です。現在の市場において優位性の高い商業施設(ファッションビル、駅ビル、セレクトショップ、路面店・リセールショップなど)の分類を把握しながら、それらのグループワーク及び発表など、実践的な演習、アクティブラーニングを通して理解を深めていきます。本科目は、担当教員の長年の実務専門分野(アパレルショップ運営・定点調査・VMD・商品企画の実務経験)を生かした授業運営となります。

■到達目標(学修成果)

- ・この科目を通して、①都内主要エリアの特性を理解できます。②業態毎の特性の理解を深められます。③店舗調査及び分析の手法が身に付きます。④顧客の差異やMDラインナップの店舗毎の違いとその戦略を理解できます。
- ・商業施設の店舗調査(リサーチ)では立地特性の把握、定点調査の実施、各カテゴリーの訴求するトレンド情報の調査・分析、客層調査・分析、VMD調査・分析を行います。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

- ・この科目は卒業要件科目の単位であり。全学生の共通必修科目となります。
- ・レポートにおいて、各施設に共通してみられるキーワードをより多く見付け、画像や分析コメントなどの情報量の多さ、ビジュアル面による表現力の高さを評価する。

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

- ・レポートは、リサーチ翌週の授業点呼で回収。回収したレポートは期末成績が完了後に一括返却します。
- ・商業施設等の状況により場所や順番の変更をする場合があります。(掲示板・マナバを確認すること)

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

毎回、リサーチする店舗の参考資料を資料又はデータで配布します。

■参考文献

必要に応じて随時お知らせします。

■オフィスアワー・研究室

第1回目の授業で指示。出講日：火曜日

連絡先：教務課(本校舎1階)

■備考

- ・各施設・各店舗でのルールに留意しながら、団体ではなく個人・チームでリサーチを行ってください。
- ・外出機会が多いため店頭での常識ある態度、礼儀、撮影には店員の承諾を得る等を十分注意すること。
- ・レポート提出が評価の中心になるため期日厳守。またリサーチにかかる交通費は各自負担となります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 大方	フィールドリサーチの基本的確認と注意事項 グループ分け、エリア決め(渋谷エリア・原宿エリア)	予習：シラバスの確認 復習：今後のリサーチ エリアの確認とグループ内での情報共有	30分
2回 大方	フィールドリサーチ①渋谷エリア(1) 渋谷パルコ：コンセプトショップを中心にリサーチ	予習：渋谷エリアの確認 復習：レポートの作成	60分
3回 大方	フィールドリサーチ②原宿エリア(1) キャットストリート：気になるショップをリサーチ	予習：原宿エリアの確認 復習：レポートの作成	60分
4回 大方	フィールドリサーチ③渋谷エリア(2) 渋谷：定点観測 渋谷スクランブルスクエア：施設全体をリサーチ	予習：渋谷エリアの確認 復習：レポート・定点観測調査書の作成	80分
5回 大方	フィールドリサーチ④原宿エリア(2) 原宿：定点観測 ラフォーレ原宿：施設全体をリサーチ	予習：原宿エリアの確認 復習：レポート・定点観測調査書の作成	80分
6回 大方	フィールドリサーチ⑤渋谷エリア(3) 宮下パーク：トレンド最先端の施設全体をリサーチ	予習：渋谷エリアの確認 復習：レポートの作成	60分
7回 大方	フィールドリサーチ⑥原宿エリア(3) 表参道ヒルズ：トレンド最先端の施設全体をリサーチ	予習：原宿エリアの確認 復習：レポートの作成	60分
8回 大方	フィールドリサーチ⑦渋谷エリア(4) 渋谷：定点観測 渋谷ヒカリエ：施設全体、気になるブランドをリサーチ	予習：渋谷エリアの確認 復習：レポート・定点観測調査書の作成	80分
9回 大方	フィールドリサーチ⑧原宿エリア(4) 原宿：定点観測 オモカド：施設全体、気になるブランドをリサーチ	予習：原宿エリアの確認 復習：レポート・定点観測調査書の作成	80分
10回 大方	フィールドリサーチ⑨渋谷エリア(5) 渋谷・神南界限：セレクトショップ・SPAをリサーチ	予習：渋谷エリアの確認 復習：レポートの作成	60分
11回 大方	フィールドリサーチ⑩原宿エリア(5) 原宿界限：気になる古着ショップをリサーチ	予習：原宿エリアの確認 復習：レポートの作成	60分
12回 大方	フィールドリサーチ⑪渋谷エリア(6) 渋谷：定点観測 渋谷サクラステージ：施設全体をリサーチ	予習：渋谷エリアの確認 復習：レポート・定点観測調査書の作成	80分
13回 大方	フィールドリサーチ⑫原宿エリア(6) 原宿：定点観測 ハラカド：施設全体、気になるブランドをリサーチ	予習：原宿エリアの確認 復習：レポート・定点観測調査書の作成	80分
14回 大方	最終プレゼンテーションに向けての準備 ・チームごとのディスカッション・プレゼン練習等	予習：グループ内での情報共有の確認 復習：最終プレゼンテーションの準備	80分
15回 大方	フィールドリサーチのまとめ グループプレゼンテーション	総括：グループプレゼンテーション	40分

フィールドワーク（集中）

梅谷 知世、鈴木 桜子、井口 多恵子

服飾文化学科 1年 後期 必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

国内外の服飾文化、またそれに関わる歴史・民俗文化の継承のあり方について、関西圏を中心に博物館・美術館・郷土・民俗資料館等の見学研修を行います。服飾資料やそれに関連する歴史資料をどのように扱っているのか、資料価値の視点、資料の取り扱い方、調査・研究への取り組み、保存と情報公開、歴史文化の継承に取り組む実際を見聞し、現在の問題とそれに対する課題、今後の服飾文化の継承について考える機会とします。事前学習として学びの目的と課題を明確にし、事後学習として課題認識を高めていくためのディスカッションの場を設けていきます。

■到達目標（学修成果）

本授業を通して、服飾文化の継承に関する現代的な問題を認識し、課題解決に向けた視点をもって今後の学習に繋げていくことを目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業要件科目にあたる専門必修科目です。実際の現場を見聞することで将来、卒業後の進路を考えていく貴重な機会となります。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業で課されるレポートについては担当教師が添削・コメントを付けて返却します。(manaba等利用)

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

参考文献

必要に応じて授業内で紹介します。

■オフィスアワー・研究室

初回の授業でお知らせします。

■備考

見学研修先の都合により、内容を変更することがあります。

■授業計画

[illegible]

服飾造形基礎 II

水野 真由美

服飾文化学科 1年 後期 必修 (3単位 演習)

■授業の方針・概要

服飾造形のブラウスに関する製図方法と基礎的な知識や技術を修得する。アパレル企業での経験を授業に取り入れ、生産現場の基本的スキルを学んでいく。

■到達目標（学修成果）

服飾造形の基本アイテムとしてブラウスのパターンメイキング、縫製方法を学修し、制作プロセスを理解する。また、その他のブラウスの製図方法を学び応用力を身に付けることを目指す。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業認定科目。専門科目、服飾関係科目の初年次の演習科目。服飾造形基礎Ⅰに続き、基本アイテムにおける服の構造を学修し、専門コースでの学修へ繋げていく。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

成績評価として、提出物が未了の場合は、再履修とする。

課題によるが、14回目までに評価・解説出来るものは、授業内で返却する。小試験・レポート等の添削については、各担当教員から、別途返却の日程を伝達する。15回目にプレゼンテーション後、作品の評価を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

ドレメ式原型、基礎テキスト、PATTERN MAKING I、SEWING I、電子教材

■参考文献

図解服飾用語事典、その他（必要に応じ授業時・マナビコースで紹介）

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー、研究室については、各クラス第1回目の授業に指示します

■備考

進度により、日程および内容を変更することもある。予習・復習の時間は、進捗状況により異なるので各自、必要分を行うこと。記載は最低限の時間である。遅滞課題、分からない箇所がある場合は、サポートに参加するようにする。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 水野	連携授業について、著作権について、ドレメ式原型について 採寸方法、原型製図、グループワーク実習について	予習 シラバスを読む、採寸方法を調べる 復習 原型について製図方法を見直す	90分
2回 水野	ブラウスの種類、名称・パターン説明、原型製図（身頃続き） ポートフォリオについて	予習 ブラウスの種類を調べる 復習 グループワークを進める	90分
3回 水野	基本製図：ボックスシルエット（身頃、ショールカラー、袖） 応用製図：袖（タイトスリーブ）	予習 テキストのブラウス製図の手順を見る 復習 製図を見直す	90分
4回 水野	応用製図：ブラウスの衿、袖各種 グループワークプレゼンテーション	予習 プレゼンテーションの準備 復習 遅滞箇所を行う	100分
5回 水野	ブラウス制作について（サイズ、デザイン、布）、製図 ブラウスのあきについて（縫製方法・身頃）	予習 製図・縫製方法を調べる 復習 遅滞箇所を行う	120分
6回 水野	ブラウスのあきについて（縫製方法・衿） 製図	予習 布の準備、地直し 復習 遅滞箇所を行う	90分
7回 水野	基本製図：タイトシルエット（身頃） 小試験	予習 製図・縫製の確認 復習 遅滞箇所を行う	90分
8回 水野	基本製図：タイトシルエット（ショールカラー、袖） 実物制作① 型紙作成	予習 製図・縫製方法の確認 復習 遅滞箇所をお行う	80分
9回 水野	実物制作② 裁断	予習 縫製手順の確認 復習 遅滞箇所を行う	90分
10回 水野	実物制作③ 芯接着、印入れ、ダーツ縫い、縫い代始末	予習 接着芯の選択、縫製の為のしつけ 復習 遅滞箇所を行う	90分
11回 水野	実物制作④ 縫い代始末、肩縫い、衿作り	予習 縫製のためのしつけ 復習 遅滞箇所を行う	90分
12回 水野	実物制作⑤ 衿付け、脇縫い 袖作り	予習 作業箇所を読む、縫製の為のしつけ 復習 遅滞箇所を行う	90分
13回 水野	実物制作⑥ 袖付け、裾始末 ボタン付け、ボタンホール	予習 ボタンの選択 復習 遅滞箇所を行う	90分
14回 水野	実物制作⑦ 縫製仕上げ、アイロン、提出	予習 着装方法を考える 復習 遅滞箇所を行う	90分
15回 水野	ブラウス縫製評価、ブラウスプレゼンテーション 小試験・まとめ	予習 プレゼンテーション準備 復習 返却課題の見直し	95分

西洋服飾文化史

鈴木 桜子

服飾文化学科 1年 後期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

現在、私たちは洋服を着た生活をしています。しかし日本における洋服の歴史は実質100年の歩みでしかありません。私たちが日本で洋服を着るようになるその背後には、西洋文化の中で培われてきた何千年もの歴史があるのです。

本授業の方針としては、有史以来、民族、地域、風土、宗教によって形成されてきた西洋文化を服飾の視点から探っていきます。また、身体-衣服-空間の視点から時代の美しさを表わしてきた芸術・建築様式との関連性を重視していきます。

■到達目標（学修成果）

西洋服飾の歴史について、文化史の観点から理解できるようになることが本授業の到達目標です。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は服飾文化学科の必修科目であり卒業要件科目です。また学芸員課程の履修科目の一つになっています。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業の進行状況にあわせて、授業ノートに関する評価をし、授業内でフィードバックをしていきます。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし。毎回プリントを配布します。

■参考文献

必要に応じて授業内で紹介します。

■オフィスアワー・研究室

初回の授業でお知らせします。

■備考

初回授業で説明する「授業の受け方・出欠について・評価について」をきちんと把握理解した上で受講していきましょう。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 鈴木	オリエンテーション 服飾と様式について	シラバスの確認	30分
2回 鈴木	I. 古代 エジプト様式	復習：前回ノートの確認＋復習テスト	30分
3回 鈴木	ギリシャ様式	復習：前回ノートの確認＋復習テスト	30分
4回 鈴木	ローマ様式	復習：前回ノートの確認＋復習テスト	30分
5回 鈴木	II. 中世 初期キリスト教様式	復習：前回ノートの確認＋復習テスト	30分
6回 鈴木	ビザンティン様式	復習：前回ノートの確認＋復習テスト	30分
7回 鈴木	ロマネスク様式	復習：前回ノートの確認＋復習テスト	30分
8回 鈴木	ゴシック様式	復習：前回ノートの確認＋復習テスト	30分
9回 鈴木	III. 近世 ルネサンス様式	復習：前回ノートの確認＋復習テスト	30分
10回 鈴木	バロック様式	復習：前回ノートの確認＋復習テスト	30分
11回 鈴木	ロココ様式	復習：前回ノートの確認＋復習テスト	30分
12回 鈴木	IV. 近代 新古典主義様式	復習：前回ノートの確認＋復習テスト	30分
13回 鈴木	ロマン主義	復習：前回ノートの確認＋復習テスト	30分
14回 鈴木	歴史主義様式	復習：前回ノートの確認＋復習テスト	30分
15回 鈴木	まとめ＋プレゼンテーション	総復習テスト、プレゼンの準備	40分

衣服材料学

三代 かおる

服飾文化学科 1年 後期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

衣服を構成する要素として衣服材料は重要な役割を果たしており、衣服材料の知識は服飾に関するすべての分野において必要な基本知識である。衣服材料の物理的・化学的性質を理解し、それぞれの特徴を把握することは、衣服を作り出していく上で重要な基礎となることを、身近な材料として興味を持ちながら身につけて行けるように配慮する。

■到達目標（学修成果）

衣服材料の基礎的知識の習得により、衣服の設計製作において目的に応じた適切な材料の選択ができ、自分の着ている衣服の素材や店頭の衣服に用いられている材料について、説明できるレベルの到達を目指す。また、衣服材料を詳しく理解することでその着心地や管理方法にも関連付けて興味を持てることを目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目であり、服飾造形関係の基礎を学習する科目。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

配布したプリントの解説、授業内復習試験により繊維の知識を定着させる。繊維の燃焼実験を行い、細部まで観察して繊維についての理解を深め、レポートを個別に添削返却して解説する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

鈴木美和子ほか著 新版アパレル素材の基本 織研出版社 2018

■参考文献

授業内で適宜紹介する。

■オフィスアワー・研究室

前期 水曜日(10時30分～10時40分)第2校舎小ホール

後期 水曜日(12時10分～12時50分)第3校舎講師控室

■備考

必ず教科書を持ってくること。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 三代	ガイダンス 衣服材料学とは	予習:シラバスを読む。教科書で繊維名を確認しておく。	30分
2回 三代	繊維の分類	復習:教科書を読み、繊維の分類を理解する。	30分
3回 三代	繊維の物理的性質	復習:教科書を読み、物理構造と強伸度曲線を理解する。	30分
4回 三代	繊維の化学的性質	復習:教科書を読み、化学構造と吸水性吸湿性の関係を理解する。	30分
5回 三代	植物繊維 繊維についてまとめプリントを配布	復習:教科書を読み、植物繊維についてノートにまとめる。	30分
6回 三代	動物繊維	復習:教科書を読み、動物繊維についてノートにまとめる。	30分
7回 三代	再生繊維	復習:教科書を読み、再生繊維についてノートにまとめる。	30分
8回 三代	半合成繊維	復習:教科書を読み、半合成繊維についてノートにまとめる。	30分
9回 三代	合成繊維	復習:教科書を読み、合成繊維についてノートにまとめる。	30分
10回 三代	改良化学繊維	復習:教科書を読み、改良化学繊維についてノートにまとめる。	30分
11回 三代	繊維の燃焼実験 レポート提出	復習:今までの授業内容の総復習。	120分
12回 三代	繊維総復習試験	復習:試験問題を振り返る。	30分
13回 三代	糸の分類	復習:教科書を読み、糸の分類についてノートにまとめる。	30分
14回 三代	織物、編物の構造	復習:授業すべての総復習をし、理解を深める。	120分
15回 三代	まとめ 課題(試験やレポート等)のフィードバックを行う。	復習:試験問題を振り返る。	30分

ドローイングⅠa

瀬古 徹

服飾文化学科 1年 前期 必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

1.「立体」としての形態の把握

2.服飾造形の出発点である「人体形態」の知識を、身に付ける

この授業では、紙の上に「描画（ドローイング）」しながら、美術解剖学をベースにした人体骨格のイメージを「知識」として身に付けていく。この二点の相関関係を体験しながら授業は進行されていく。

■到達目標（学修成果）

1.服飾造形に必要な最低限度の人体形態の知識を「体感的」に身に付けることが可能となる。「知る」ことによって「描くことが出来る」ようになり、「描くことが出来る」ようになることで、「知る」こととなる。

2.運動に近い描画という行為（ドローイング）を訓練することで、見たこと、思いついたこと、そして感じたことをダイレクトに表現（＝絵を描くこと）することが出来るようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目であり、必修科目である。服飾の根幹である「身体」についての「体感的知識」と「描画の運動能力」は、専門分野での発想に直結したイメージの抽出を通して、作品制作そのものの礎として活かされていく。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

・毎回の提出作品の採点後、次回授業最初に、作品の全体的な評価点、問題点等を優秀作品の抜粋により解説する。

・14回目提出のポートフォリオは、内容とそれぞれの受講分析に対して、各自に「評価コメント」を記述し15回目に返却する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

授業の進行に合わせて、プリントを配付する

■参考文献

必要に応じて授業時に指示

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーの曜日、時間は授業内で指示。連絡研究室：大学表現演習研究室(第3校舎1階)

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 瀬古	オリエンテーション 基本形態-1	予習；シラバスの確認 復習；画材の確認	30分
2回 瀬古	基本形態-2→概念としての立体形態。立方体 「アクティブラーニング（A.L）」	予習；鉛筆、色鉛筆の先端の削鋭を行う 復習；2点透視図の下描き	120分
3回 瀬古	形態の把握→リングをモチーフとし自然の中に立体形態を探す。輪郭線の隠蔽、「稜線」の発見と強調 [A.L]	復習；色鉛筆画材の描画方法の復習 ここで得た知識を基に2点透視図の着色、完成	90分
4回 瀬古	人体構造について-1→美術解剖学に基づく骨格、位置関係。	復習；人体における体幹を中心とした骨格の確認	30分
5回 瀬古	人体構造について-2→性差、人種差等による形態イメージの比較等[A.L]	復習；人体における骨格の透視図の作成	90分
6回 瀬古	模写から学ぶ人体構造→過去の作品からの人体イメージ。重心線、アシメトリーなポーズの意識 [A.L]	予習；骨格の形態と位置関係の確認 復習；模写の完成	90分
7回 瀬古	立体構造としての人体の分析→運動する人体のイメージ。“箱” [A.L]	予習；立体構造としての基本形態の確認 復習；人体の箱状の立体分析の完成	30分
8回 瀬古	人体骨格の構造的表現→表面から見た骨格構造、骨格の箱状の分析[A.L]	予習；人体の箱状の立体分析の完成 復習；骨格の形態と位置関係の確認	30分
9回 瀬古	クロッキー→ヌードモデル。現実において人体の骨格構造を探す(4ポーズ)[A.L]	予習；骨格の形態と位置関係の確認 復習；観察を通じた骨格把握	30分
10回 瀬古	人体ドローイング→コスチュームモデル。静止した人体の衣服と立体構造の関係を探す(固定ポーズ)[A.L]	予習；人体の稜線、面の方向の確認 復習；観察を通じた骨格把握	30分
11回 瀬古	人体と服-1→体幹における人体と衣服 “箱”としての立体構造の分析。ポートフォリオ作成に関して[A.L]	予習；立体構造としての基本形態の確認 復習；モチーフのプランニング	60分
12回 瀬古	人体と服-2→体幹における人体と衣服 稜線の確認、材質感表現の為の「下塗り」[A.L]	予習；骨格の形態と位置関係の確認 復習；“リアル”な表現のための「下塗り」	60分
13回 瀬古	人体と服-3→体幹における人体と衣服 面相筆等を使用した表面描画。“リアル”と何かを考える[A.L]	復習；受講分析文、ポートフォリオ完成、2回～13回の復習	120分
14回 瀬古	最終評価課題→授業の内容の再確認、ポートフォリオの提出 [A.L]	復習；人体の知識、立体表現の方法の専門への応用を考える	45分
15回 瀬古	まとめ→最終評価課題作品、受講分析文、ポートフォリオの評価のフィードバック、「つくる」こととは [A.L]	復習；最終評価課題、受講分析文、ポートフォリオの評価に基づく、反省と発展	60分

服飾造形応用

宮澤 光与、笹部 小百合

服飾文化学科 1年 後期 選択 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

スカートにおける構成や機能を理解し、応用デザインの作品制作をする。スカートについてリサーチを行い流行の形や色など、市場動向を知る。

■到達目標（学修成果）

スカートのデザインから制作までを通して造形表現の方法を身に付ける。プレゼンテーションが出来るようにする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目で卒業要件単位。2年次以降のもーどクリエイションコース、インダストリアルパターンコース等の科目に関連し、スカート制作にあたり、知識や技術を身に付ける。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業最終日に評価を行う。作品の返却は担当教員より別途日時を指定する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

ドレメ式原型、基礎テキスト、PATTERN MAKING I、SEWING II

■参考文献

図解服飾用語事典、その他（必要に応じ紹介）

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー・研究室については、担当教員より第1回目の授業にて指示します。

■備考

成績評価として、課題が未了の場合は、不合格とする。

進捗により、日程および内容を変更する場合もある。予習、復習の時間は必要に応じ増減すること。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 水野	オリエンテーション、基本スカート寸法について、基本スカートからの展開方法について説明	予習 シラバスを読む、スカート製図を見る 復習 製図の確認	60分
2回 水野	著作権について、スカートのデザインと布の関係、使用寸法製図方法説明、デザイン考案	予習 リサーチ、コレクション雑誌等の閲覧 復習 製図方法	120分
3回 水野	各自製図	予習 スカート原型のトレース 復習 遅滞箇所を行う	80分
4回 水野	スカートのあきについて 種類・縫製方法	予習 地直し 復習 遅滞箇所を行う	90分
5回 水野	トワルの組み立てについて、トワル裁断・組み立て	予習 デザイン・使用寸法の確認 復習 遅滞箇所を行う	90分
6回 水野	トワル仮縫いについて 仮縫い・補正・製図修正	予習 製図・トレース作業 復習 遅滞箇所を行う	120分
7回 水野	型紙作成 実物裁断・印入れ	予習 縫製方法を調べておく 復習 遅滞箇所を行う	80分
8回 水野	縫製手順（制作マップ）について説明 実物組み立て	予習 縫製手順書の作成 復習 遅滞箇所を行う	120分
9回 水野	実物仮縫い・補正・製図修正・型紙修正・印入れ直し 縫製①	予習 サンプル作成 復習 遅滞箇所を行う	120分
10回 水野	縫製②	予習 説明のあったところまで進める 復習 遅滞箇所を行う	120分
11回 水野	縫製③ 1/5大製図の書き方、プレゼンテーション資料について説明	予習 説明のあったところまで進める 復習 1/5大製図下書き、プレゼン資料収集	120分
12回 水野	縫製④	予習 説明のあったところまで進める 復習 遅滞箇所を行う	120分
13回 水野	縫製⑤ 1/5大製図提出	予習 説明のあったところまで進める 復習 遅滞箇所を行う	120分
14回 水野	縫製⑥ 仕上げ、アイロン、提出 プレゼンテーション資料提出	予習 着装方法を考えておく 復習 縫製方法の確認	120分
15回 水野	プレゼンテーション まとめ	予習 プレゼンテーション準備 復習 スカートリサーチ、縫製方法をみる	120分

現代デザイン論

塚本 文雄

服飾文化学科 1年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

デザインの時代と呼ばれる現代。技術の進歩と経済的な発展によって、誰でもが簡単にある程度のモノを作ることができるようになった現代。デザインが私たちにもたらすものは何か？そしてデザイナーの役割とは何か？本授業では、デザインの源流とも言えるアーツアンドクラフツ運動から世界と日本のデザイン変遷を振り返り、現代デザインの様々な潮流を基礎知識として学ぶ。また、様々な分野の現役で活躍しているデザイナー、プロデューサーをゲストとして招き、授業担当者のデザイン関連のPR企画実務経験と併せ、学生同士の議論を交えながら現代デザインの課題と未来の展望を考察する。

■到達目標（学修成果）

デザインを志す者にとって知っておきたいファッション領域以外のデザインの基礎知識を得ることで広い視野を持てるようにする。現代デザインの潮流や課題を理解することでこれからのデザイナーの在り方を考え、意識を高められるようにする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目で卒業要件単位となります。造形の授業と関連し、デザインとは何かを自ら問い、考えることで、自身の将来への指針に活かす契機となるでしょう。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題提示、提出および授業に関する連絡はポータルサイトにて行う。課題によっては評価結果をポータルサイトにてフィードバックを行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

授業資料プリントを作成する。

■参考文献

必要に応じて授業で紹介する。

■オフィスアワー・研究室

教務課を通じて連絡してください。出講日：木曜日

■備考

ゲスト招聘の回は日程、内容変更が生じる場合があるため都度授業時に周知する。課題はゲスト講師授業の感想文3回。展覧会見学感想文2回。プレゼンテーション1回。最終課題レポート1回。授業中のグループディスカッションへの取り組み状況や授業態度、出席日数なども重視します。誠実に学修してください。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 塚本	【イントロダクション1】本講義の概要と目的の説明。 デザインとは何か？の問題提起	復習：今後の講義内容への準備	30分
2回 塚本	【イントロダクション2】「デザインジャーナリスト」を招き 現代デザインの課題やデザイナーの在り方、仕事を語る。	復習：講義の感想文を翌日までに提出	30分
3回 塚本	【世界のデザイン史1】1800年代～1940年代：アーツアンドクラフツからバウハウスまで。講義＋議論＋発表	予習：前週に配布するレジュメを確認し議論できるよう準備し講義に臨むこと。	60分
4回 塚本	【世界のデザイン史2】1950年代から1990年代：戦後のデザインから2000年までのデザイン。講義＋議論＋発表	予習：前週に配布するレジュメを確認し議論できるよう準備し講義に臨むこと。	60分
5回 塚本	【日本のデザイン史1】明治～1945年：殖産興業から戦時下のデザインまで。講義＋議論＋発表	予習：前週に配布するレジュメを確認し議論できるよう準備し講義に臨むこと。	60分
6回 塚本	【日本のデザイン史2】戦後～1990年代：戦後のデザインからバブル期を経て2000年までのデザイン。講義＋議論＋発表	予習：前週に配布するレジュメを確認し議論できるよう準備し講義に臨むこと。	60分
7回 塚本	【デザインの今1】「インテリアデザイナー」を招きデザインのトレンドと課題、将来への展望を実務経験と併せて語る。	復習：講義の感想文を翌日までに提出	30分
8回 塚本	【現代デザインの潮流1】2000年以降のデザイン：激変する中、デザイナーの価値、課題は何か考察。講義＋議論＋発表	予習：前週に配布するレジュメを確認し議論できるよう準備し講義に臨むこと。	60分
9回 塚本	【現代デザインの潮流2】世界で活躍する日本人デザイナーのデザインの考え方を紐解き考察する。講義＋議論＋発表	予習：前週に配布するレジュメを確認し議論できるよう準備し講義に臨むこと。	60分
10回 塚本	【デザインの今2】「広告ディレクター」を招き、将来への展望を実務経験と併せて語る。ワークショップ実施。	予習：ワークショップを理解し講義に参加すること。復習：講義感想文を翌日提出。	60分
11回 塚本	【デザインの今3】自分の好きなデザイン、興味あるデザインを選び、授業で発表。現在のデザインを考察、	予習：好きなデザインの画像を事前に提出。発表コメントを考え受講すること	60分
12回 塚本	【デザインの未来1】これからのデザインとは？デザインの可能性とデザイナーの在り方を考える。映像視聴＋発表	復習：最終課題への準備を行う。	30分
13回 塚本	【デザインの未来2】これからのデザインとは？デザインの可能性とデザイナーの在り方を考える。映像視聴＋発表	復習：最終課題への準備を行う。	30分
14回 塚本	【現代デザインの潮流3】デザインミュージアムの活動と役割。キュレーターの仕事紹介映像視聴。	予習：前週に配布するレジュメを確認し議論できるよう準備し講義に臨むこと。	30分
15回 塚本	【現代デザインの潮流4】前週の映像を見ての感想を議論＋発表＋現代デザイン論総括	予習：映像感想の議論にむけて準備しておくこと。	30分

ファッション販売論

大極 勝、岩井 光枝

服飾文化学科 1年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

全国展開の婦人服小売業チェーンにおける実務経験を活かし、ファッション産業での販売業務の役割と重要性が理解できます。教科書と実務経験の融合から販売業務の基礎知識とテクニックを学ぶことができます。現場感を確認することで販売業務の奥深さと楽しさを感じ取ることができます。販売業務を通して、社会人として人としていかにあるべきかを総合的に学ぶ授業です。これらを学びながら、ファッション販売能力検定3級を受験・合格ができるファッション全般に関わる知識の習得を目指します。

■到達目標（学修成果）

ファッション販売能力検定3級を取得する知識と実力を身に付け、ファッションアドバイザー、コーディネーターとしてライフスタイル全般の提案ができる基本スキルを習得します。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目で卒業要件単位となります。専門専攻にかかわらず選択することができます。実社会に出た時に新たな力となる考え方の基盤を作ることができ、4年間の各講座の積極的理解のかなめとなります。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各回講義終業前に過去問題に取り組み、次回の講義で解答の解説と確認をします。
全授業のまとめとして、期末にペーパー試験を実施。解答と解説、総評を後日キャンパスマジックにてフィードバックします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

ファッション販売3 (日本ファッション教育振興協会編)

■参考文献

ファッション販売3 - ファッション販売能力検定試験3級公式問題集- (日本ファッション教育振興協会編)

■オフィスアワー・研究室

ファッションビジネス・マネジメントコース〔3402教室〕または講師控室にて授業前30分程度待機しています。

■備考

教科書は必ず準備し毎回持参してください。全15回ともキャンパスマジックにて授業用レジュメ、過去問題、課題等を配信します。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 大極	ファッション業界人にあるべき姿- 問われる総合的な人間力 社会人、学生である前に人としてのあり方を考える	復習：レジュメ・課題・問題集等を キャンパスマジック（以下CM）にて配信	30分
2回 大極	ファッション販売知識を学ぶ（P.8～19）	復習：レジュメ・過去問題集等をCMにて配信	30分
3回 岩井	ファッション販売技術を学ぶ（P.20～45）	復習：レジュメ・過去問題集等をCMにて配信	30分
4回 大極	商品知識1（アイテム）を学ぶ（P.46～75）	復習：レジュメ・過去問題集等をCMにて配信	30分
5回 大極	商品知識2（インナー、雑貨）を学ぶ（P.76～93）	復習：レジュメ・過去問題集等をCMにて配信	30分
6回 大極	商品知識3（素材、ディテール）を学ぶ（P.94～117）	復習：レジュメ・過去問題集等をCMにて配信	30分
7回 岩井	売り場づくりを学ぶ（P.152～173）	復習：レジュメ・過去問題集等をCMにて配信	30分
8回 大極	商品知識4（柄、色彩、）を学ぶ（P.118～135）	復習：レジュメ・過去問題集等をCMにて配信	30分
9回 大極	商品知識5（サイズ、副資材）を学ぶ（P.136～151）	復習：レジュメ・過去問題集等をCMにて配信	30分
10回 岩井	販売スタッフの業務を学ぶ（P.198～213）	復習：レジュメ・過去問題集等をCMにて配信	30分
11回 大極	マーケティングについて学ぶ（P.174～197）	復習：レジュメ・過去問題集等をCMにて配信	30分
12回 大極他	検定試験3級問題への取り組みと解答、解説	復習：レジュメ・過去問題集等をCMにて配信	30分
13回 大極他	テキストフォローと販売実務について学ぶ①	復習：レジュメ・過去問題集等をCMにて配信	30分
14回 大極他	テキストフォローと販売実務について学ぶ②	復習：レジュメ・過去問題集等をCMにて配信	30分
15回 大極他	「まとめ」として小テスト実施 授業内容の総合的な理解度を確認する	自己確認：模範解答・解説をCMにて配信	60分

流行論

五月女 由紀子

服飾文化学科 1年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

流行とはなにか。考える上で基本となる「流行の心理」「製品のライフサイクル（商品寿命）」の概念を十分に理解する。その上で、導入、普及、衰退していく「流行のメカニズム」を事例に基づきながら把握する。ファッションビジネスの事例を取り入れながら講義を行うが、ファッション以外の流行商品やトレンド、デジタルネイティブなZ世代の若者による社会現象にも触れることにより、現代社会における流行を検証していく。特に、昨今のデジタル社会のコミュニケーションであるSNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）による情報の重要性、そこから購買行動にどのような影響を及ぼすかに注目していく。

■到達目標（学修成果）

ファッションにとどまらず、世の中の流行商品や現象を自分なりに分析する力を養うことができる。また、デジタルマーケティングの基礎を学ぶことで、アパレル業界で必要とされている実務の理解ができるようになり、将来の商品企画や販売の仕事に役立てることができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

1年生の履修を中心とした、服飾学部全学生の専門選択科目の卒業要件科目となります。ファッションビジネスを理解する基礎力向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

複数回の課題をポートフォリオか授業内に提出してもらい、フィードバックをする。授業内提出物や時間外学修の課題提出の総合点を採点とする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

教員が作成した資料を配布するため、各自管理を行うことが必須である。

■参考文献

「メディアと流行の心理」中島純一 金子書房

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーの日時は授業初回に提示する。ファッションビジネス・流通イノベーション実習室 第3校舎3207教室
ファッションビジネス・流通イノベーション研究室 (3300)

■備考

授業内容は進行状況等により変更することもあります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 五月女	「流行」とは - 流行商品ランキング、医学的流行から流行曲線を考える -	予習：シラバスを読む	30分
2回 五月女	流行研究と流行の心理 - 同調性と微差化について -	復習：課題レポートを作成する	60分
3回 五月女	製品のライフサイクルと消費者採用プロセス（ロジャース） - 早期採用者理論 -	復習：配布資料を振り返り、整理する	60分
4回 五月女	デジタルマーケティングのコミュニケーション① - 口コミと購買行動 -	復習：配布資料を振り返り、整理する	60分
5回 五月女	デジタルマーケティングのコミュニケーション② - UGCとステルスマーケティング -	復習：課題レポートを作成する	60分
6回 五月女	ファッションとSNS ① - SNS と購買の関係 -	復習：配布資料を振り返り、整理する	60分
7回 五月女	ファッションとSNS ② - インフルエンサーとフォロワーが作る流行 -	復習：課題レポートを作成する	60分
8回 五月女	デジタルマーケティングのコミュニケーション③ - WEB広告・PR・プロモーション -	復習：配布資料を振り返り、整理する	60分
9回 五月女	デジタルマーケティングのコミュニケーション④ プレス、スタイリスト、エディターの仕事	復習：課題レポートを作成する	60分
10回 五月女	ファッションカラーとトレンド予測のしくみ	復習：配布資料を振り返り、整理する	60分
11回 五月女	ファッションコレクションについて	復習：配布資料を振り返り、整理する	60分
12回 五月女	ストリートファッションとサブカルチャーについて	復習：配布資料を振り返り、整理する	60分
13回 五月女	ラグジュアリーブランドの流行戦略 - 新進デザイナーの起用によるインフルエンサーの獲得 -	復習：配布資料を振り返り、整理する	60分
14回 五月女	ラグジュアリーブランド・デザイナーのドキュメンタリー動画鑑賞（ブランド戦略と早期採用者理論の重要性）	予習：まとめ課題レポートを作成する	60分
15回 五月女	まとめ（課題）のフィードバックを行う	復習：授業全体を振り返り、整理する	60分

流通・商業入門

六嶋 俊太

服飾文化学科

1年

後期

選択

(2単位 講義)

■授業の方針・概要

本講義では、ビジネスに関わる学問の初学者を対象として、企業活動および消費現象を思考するための概念、理論、枠組みを提供する。受講生は、学んだ概念、理論、枠組みを、現実の企業や現象に当てはめ思考する演習（グループワーク）を通して、知識を習得し、活用する力を身につけることが求められる。上述した一連の活動を通して、本講義は、商業（需要と供給を結びつけることで利益を得る事業）の仕組みや、流通（製品・サービスを消費者に適切に提供する仕組み）の理解を深めることを目的とする。

■到達目標（学修成果）

- ①流通・商業に関わるコンセプト・理論枠組みを理解し、企業活動および消費現象を思考する能力を身につける
- ②講義で学んだ内容を具体的な現象に当てはめ、それらを他者に分かりやすく伝達する能力を身につける

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、卒業要件科目の単位となります。全学生の共通必修で、ファッションビジネスを理解する基礎力向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

最終試験の終了後に、解説付きの正答を配布します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

なし

■参考文献

石井淳蔵・廣田章光・清水信年（編）（2019）『1からのマーケティング（第4版）』中央経済社。

松井剛・西川英彦（編）（2020）『1からの消費者行動（第2版）』中央経済社。

■オフィスアワー・研究室

メールにて対応します。2025年4月に所属機関のメールアドレスが変わるため、初回の授業で改めてお伝えします。

■備考

講義の際に、レジュメを配布します。PDFでも配布しますので、パソコンやタブレット端末を持っている学生は持参し、授業で活用してください（グループワークも捗ると思います）。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 六嶋	オリエンテーション（授業の進め方）	（復習）成績評価の基準を理解する。概念、理論、枠組みという言葉を理解する。	30分
2回 六嶋	企業とその活動について	（復習）レジュメに基づいて、学んだ概念・理論・枠組みを理解する	30分
3回 六嶋	業界構造とサプライチェーンについて	（復習）レジュメに基づいて、学んだ概念・理論・枠組みを理解する	30分
4回 六嶋	マーケティングについて	（復習）レジュメに基づいて、学んだ概念・理論・枠組みを理解する	30分
5回 六嶋	マーケティング・ミックスについて	（復習）レジュメに基づいて、学んだ概念・理論・枠組みを理解する	30分
6回 六嶋	製品ライフサイクルについて	（復習）レジュメに基づいて、学んだ概念・理論・枠組みを理解する	30分
7回 六嶋	ブランドについて	（復習）レジュメに基づいて、学んだ概念・理論・枠組みを理解する	30分
8回 六嶋	第1回グループ・プレゼンテーション（前半）	（準備）グループ・プレゼンの練習。質問内容の準備。	30分
9回 六嶋	第1回グループ・プレゼンテーション（後半）	（準備）グループ・プレゼンの練習。質問内容の準備。	30分
10回 六嶋	消費者行動について（1）	（復習）レジュメに基づいて、学んだ概念・理論・枠組みを理解する	30分
11回 六嶋	消費者行動について（2）	（復習）レジュメに基づいて、学んだ概念・理論・枠組みを理解する	30分
12回 六嶋	消費者行動について（3）	（復習）レジュメに基づいて、学んだ概念・理論・枠組みを理解する	30分
13回 六嶋	第2回グループ・プレゼンテーション（前半）	（準備）グループ・プレゼンの練習。質問内容の準備。	30分
14回 六嶋	第2回グループ・プレゼンテーション（後半）	（準備）グループ・プレゼンの練習。質問内容の準備。	30分
15回 六嶋	最終試験	（復習）最終試験のための復習。	30分

ファッション画Ⅱ

小林 玲

服飾文化学科 1年 後期 選択 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

服のシルエット、素材、色彩等を意識し、デザインの正確な描写をトレーニングすることで、ファッション画Iで修得した知識と技術を発展させていきます。

幅広いファッションジャンルに対して目を向け、自身の好みや世の中の流行を意識することを心がけます。

■到達目標（学修成果）

- ・生地や素材感を意識した描写ができる
- ・様々なアイテムに対しての着装表現、ハンガーイラストの描き方を修得できる

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシーでは、専門選択科目となり、服飾造形の基礎力の向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各課題の添削の際にはコメントやアドバイスの記入をして、次回以降の授業で返却する。

課題によっては、返却時にクラスメイトの課題を閲覧する時間を設けて、意見交換やアドバイスを行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

ファッション画法

■参考文献

授業内で適宜紹介する

■オフィスアワー・研究室

【オフィスアワー】第1回目の授業時に指示する

【研究室】ファッション画研究室 研究棟2階 6025

■備考

- ・授業に必要な道具や参考資料は必ず開始前に準備すること
- ・進度により授業計画が変更になる場合もある
- ・学生へのインフォメーションはポータルサイトを利用します

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 各自	【素材や柄の描写表現①】 画材を活かした表現方法（マーカー・色鉛筆等）	【予習】履修便覧を読んでおく	30分
2回 各自	【素材や柄の描写表現②】	【復習】様々な素材や柄の表現練習	60分
3回 各自	【テーラード・ジャケット①】 ・ジャケットの説明 ・着装とハンガーイラスト	【予習】ジャケットのデザインリサーチと資料収集	60分
4回 各自	【テーラード・ジャケット②】	【復習】ジャケットのスケッチ	60分
5回 各自	【テーラード・ジャケット③】	【復習】ジャケットのスケッチ	60分
6回 各自	【コート①】（羊毛、獣毛素材などの毛織物） ・着装とハンガーイラスト	【予習】コートのデザインリサーチと資料収集	60分
7回 各自	【コート②】 ・着装と帽子、バッグ、靴 等の小物表現	【復習】ファッション小物のスケッチ	60分
8回 各自	【コート③】	【復習】素材描写の練習	60分
9回 各自	【子供服①】 ・年齢によるプロポーションの変化、ポーズの表現	【予習】子供服のデザインリサーチと資料収集	60分
10回 各自	【子供服②】 ・ハンガーイラスト ・素材表現	【復習】年齢によるプロポーションの変化と着装の練習	60分
11回 各自	【メンズファッション①】 ・プロポーションの練習 ・着装表現	【復習】プロポーションの反復練習	60分
12回 各自	【メンズファッション②】	【復習】着装の練習	60分
13回 各自	【sceneに合わせたファッション提案①】 ・TPOを設定し、デザインやコーディネートを提案する	【予習】自身の提案内容を確認し、資料収集と課題進行の準備	60分
14回 各自	【sceneに合わせたファッション提案②】	【復習】自身の提案内容を確認	60分
15回 各自	【sceneに合わせたファッション提案③】	【予習】課題進行の準備	60分

経営学入門

宮木 一平

服飾文化学科 1年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

「会社」とは何かを理解すると、生きるうえでとても役立ちます。実際、僕らの日々の生活を支えるモノやサービスの多くは「会社」によって作り出され提供されています。また、多くの人々が「会社」で働き、給料をもらって生活しています。当授業では「会社」と「マネジメント」について、個別には「マーケティング」や「イノベーション」について、わかりやすくお話しします。良い会社の見分け方、良い会社に就職するための心得についてもお話しします。将来「会社」に勤めたい、「会社」を作ってビジネスをスタートさせたい、自分のショップを持ちたいという人にとりわけおススメの授業です。

■到達目標（学修成果）

本授業での到達目標は、今後「会社」と何らかの形で関わってゆく上で役立つ、そしてもちろん就活にも役立つ基礎的知識とスキル、そして考え方・見方を身につけることです。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門科目で卒業要件科目となります。ビジネスを理解する上で基礎となる科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内で毎回の課題の解説を行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

使用しません。講義ノート重視です！あえて言えば、ドラッカーの「マネジメント」（ダイヤモンド社）です。

■参考文献

「知の巨人ドラッカー自伝」（日本経済新聞出版社）はおススメです。その他、必要に応じて紹介します。

■オフィスアワー・研究室

質問があれば授業後に声をかけるかmippei@cc.kyoto-su.ac.jpにメール連絡してください。出講日：月曜日

■備考

履修にあたって予備知識は一切必要ないので、ご安心ください。きちんと出席して耳を傾けてくれれば必ず理解出来るようにわかりやすく説明します。毎回授業の最後にmanabaあるいは用紙で課題に回答してもらい、次の授業に反映させます。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 宮木	ガイダンス・授業の概要紹介 授業の進め方とルールの説明	予習：シラバスを読む 復習：ルールをよく理解する	30分
2回 宮木	経営学って何？ マネジメントって何？（人生そのもの！8つの問い）	復習：授業内でのQ&Aの双方向のやり取りを振り返り、考え方を定着させる。	30分
3回 宮木	会社って何？ 4つのアプローチ	復習：授業内でのQ&Aの双方向のやり取りを振り返り、考え方を定着させる。	30分
4回 宮木	企業、法人、会社って何？（1）	復習：授業内でのQ&Aの双方向のやり取りを振り返り、考え方を定着させる。	30分
5回 宮木	企業、法人、会社って何？（2）	復習：授業内でのQ&Aの双方向のやり取りを振り返り、考え方を定着させる。	30分
6回 宮木	株って何？株式会社って何？（1）	復習：授業内でのQ&Aの双方向のやり取りを振り返り、考え方を定着させる。	30分
7回 宮木	株って何？株式会社って何？（2）	復習：授業内でのQ&Aの双方向のやり取りを振り返り、考え方を定着させる。	30分
8回 宮木	会社は誰のもの？- コーポレートガバナンスの話	復習：授業内でのQ&Aの双方向のやり取りを振り返り、考え方を定着させる。	30分
9回 宮木	会社の価値って何？- M&Aの話	復習：授業内でのQ&Aの双方向のやり取りを振り返り、考え方を定着させる。	30分
10回 宮木	日本的経営って何？- 雇用・賃金の話	復習：授業内でのQ&Aの双方向のやり取りを振り返り、考え方を定着させる。	30分
11回 宮木	社会における役割分担- 行政、会社、非営利組織	復習：授業内でのQ&Aの双方向のやり取りを振り返り、考え方を定着させる。	30分
12回 宮木	これからの会社- 役割、分野	復習：授業内でのQ&Aの双方向のやり取りを振り返り、考え方を定着させる。	30分
13回 宮木	いい会社の見分け方(1)	復習：授業内でのQ&Aの双方向のやり取りを振り返り、考え方を定着させる。	30分
14回 宮木	いい会社の見分け方(2)- 就職活動の心得	復習：授業内でのQ&Aの双方向のやり取りを振り返り、考え方を定着させる。	30分
15回 宮木	まとめ 授業内で提示した課題の振り返りと解説を行う	復習：最終課題を振り返る。	30分

色彩演習

桐山 征士

服飾文化学科 1年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

美術やデザインの大学は入試時にハイレベルな色彩能力を問う。そのレベルに追いつくためのトレーニングを行う。色彩を扱う上で、不可欠な経験と色を見抜く力を育て、色価(バール)を整える能力を身につける。デザインのコンセプトに見合った根拠のある色彩を選ぶ(プレゼンの際、重要な要素となる)能力と経験を身につける。ファッション色彩能力検定関係者である担当教員が全ての過去問題を分析し、最近の傾向を読み取った練習問題を行うことで、3級の実技問題の対策を行う。実技問題は2点(知識問題は1点)なので、重要な対策となる。

■到達目標(学修成果)

色の3原則である「色相」と「トーン(明度と彩度を併せ持つ概念)」が理解出来るようになる。コミュニケーションに必要なマンセル記号(色を的確に表す指標)を理解する。

造形に必要な「コンセプトに見合った配色」を客観的な視点で習得することができる。

「ファッション能力色彩検定3級(一部2級)」レベルの実技力(一部知識問題)を身につける。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ファッション色彩能力検定3級(一部2級) 実技問題(一部の知識問題を含む)の対策になる。

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

全ての課題が「正解」となるまで、対面もしくは、ポータルサイト等を用いてアドバイスを行う。

ファッション能力色彩検定の練習問題の解説を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

ファッション色彩 [1] 日本ファッション教育振興協会

■参考文献

適宜プリントを配布する。

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーの時間は初回の授業で指示する。研究室：3003工芸室

■備考

初日に課題に用いるケント紙代として100円を集める。

初日の持ち物は「ファッション色彩 [1]」・「ベーシックカラー」・筆記用具。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 桐山	ガイダンス	ファッション色彩 [1] に目を通す。	30分
2回 桐山	ベーシックカラー番号書き	ファッション色彩 [1] に目を通す。	30分
3回 桐山	課題1「明度を合わせる」 有彩色の明度を読み取るトレーニングを行う。	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
4回 桐山	課題1「明度を合わせる」 有彩色の明度を読み取るトレーニングを行う。	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
5回 桐山	課題1「明度を合わせる」 有彩色の明度を読み取るトレーニングを行う。	未完成の課題を終わらせる。(復習)	30分
6回 桐山	課題2「色相差による配色」 色相差を見極め、理解する。	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
7回 桐山	課題2「色相差による配色」 色相差を見極め、理解する。	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
8回 桐山	課題2「色相差による配色」 色相差を見極め、理解する。	未完成の課題を終わらせる。(復習)	30分
9回 桐山	課題3「明度と彩度」 明度と彩度の区別し、読み取るトレーニングを行う。	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
10回 桐山	課題3「明度と彩度」 明度と彩度の区別し、読み取るトレーニングを行う。	未完成の課題を終わらせる。(復習)	30分
11回 桐山	課題4「トーンによる配色」 明度と彩度を併せ持つ概念であるトーンを理解する。	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
12回 桐山	課題4「トーンによる配色」 明度と彩度を併せ持つ概念であるトーンを理解する。	未完成の課題を終わらせる。(復習)	30分
13回 桐山	課題5「色相とトーンによる配色」 色相とトーンをコントロール。	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
14回 桐山	課題5「色相とトーンによる配色」 色相とトーンをコントロール。	未完成の課題を終わらせる。(復習)	30分
15回 桐山	課題6「無彩色と有彩色による配色」 マンセル記号を見ずに目で明度と彩度を見分ける。	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分

色彩演習

桐山 征士

服飾文化学科

1年

後期

選択

(2単位 講義)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	
16回 桐山	課題6「無彩色と有彩色による配色」 マンセル記号を見ずに目で明度と彩度を見分ける。	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
17回 桐山	課題6「無彩色と有彩色による配色」 マンセル記号を見ずに目で明度と彩度を見分ける。	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
18回 桐山	課題6「無彩色と有彩色による配色」 マンセル記号を見ずに目で明度と彩度を見分ける。	未完成の課題を終わらせる。(復習)	30分
19回 桐山	課題7「色の感情効果」 色彩の心理的効果を理解する。	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
20回 桐山	課題7「色の感情効果」 色彩の心理的効果を理解する。	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
21回 桐山	課題8「色彩構成のテクニック」 配色のテクニックを学ぶ。	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
22回 桐山	課題8「色彩構成のテクニック」 配色のテクニックを学ぶ。	進みが遅い場合、ある程度進めておく。(復習)	30分
23回 桐山	課題8「色彩構成のテクニック」 配色のテクニックを学ぶ。	未完成の課題を終わらせる。(復習)	30分
24回 桐山	課題9「流行色情報に登場する配色方法」 基本的な配色方法を学ぶ。(2級対策)	進みが遅い場合、ある程度進めておく。(復習)	30分
25回 桐山	課題9「流行色情報に登場する配色方法」 基本的な配色方法を学ぶ。(2級対策)	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
26回 桐山	課題9「流行色情報に登場する配色方法」 基本的な配色方法を学ぶ。(2級対策)	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
27回 桐山	課題10「ファッションイメージとカラーコーディネーション」 テイストに合わせた配色を習得する。(2級対策)	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
28回 桐山	課題10「ファッションイメージとカラーコーディネーション」 テイストに合わせた配色を習得する。(2級対策)	進みが遅い場合、ある程度進めておく。(復習)	30分
29回 桐山	課題10「ファッションイメージとカラーコーディネーション」 テイストに合わせた配色を習得する。(2級対策)	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
30回 桐山	課題10「ファッションイメージとカラーコーディネーション」 テイストに合わせた配色を習得する。(2級対策)	未完成の課題を終わらせる。(復習)	30分

ビューティー・メイクアップ術A

中島 由起子

服飾文化学科

1年

前期

選択

(1単位 講義)

■授業の方針・概要

楽しみながら自分メイク見直し

■到達目標（学修成果）

ヘアとメイクで自らのよいところを見つける

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

出席

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

レポートなど

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

必要に応じて用意

参考文献

必要に応じて用意

■オフィスアワー・研究室

ありません

■備考

ありません

■授業計画

[illegible]

ビューティー・メイクアップ術B

中島 由起子

服飾文化学科

1年

後期

選択

(1単位 講義)

■授業の方針・概要

楽しく自分をあげるための講義

■到達目標（学修成果）

自分をプロデュース

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

授業出席

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

實習

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

必要に応じて用意

参考文献

必要に応じて用意

■オフィスアワー・研究室

ありません

■備考

ありません

■授業計画

[illegible]

学修基礎

北折 貴子、水野 真由美、山田 奈緒子、手島 陽介、水上 雅子、桐山 征士、千代崎 寛、鈴木 桜子、伊藤 高広、五月女 由紀子、北澤 葉奈
服飾文化学科 1年 前期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

大学新入生を対象とした「初年次教育科目」です。杉野服飾大学での学びに適応し、長期的・短期的将来像を見据えた学びの目的や意識を明確に持つことができるよう、様々な角度から講義を展開します。さらに、大学における、基礎的なアカデミックスキル（受講技術、学問的・知的活動の技術）、ソーシャルスキル（社会人としての健全な生活習慣を身に付ける技術）、スチューデントスキル（大学生活を円滑に進める技術）を修得すること、学生の学修を助けます。

■到達目標（学修成果）

- ①各授業において、それぞれの領域の知識を獲得します。②知的及び長期的な目標を持ちます。
③杉野の学びについて理解します。④学習態度・姿勢を身に付けます。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目の「初年次教育」に配置されている卒業要件科目です。ディプロマポリシー（学位授与方針）では、教養科目34単位の履修によって、社会人としての資質、能力を養うとしています。本科目は、大学入学直後から前期にかけて上記の授業方針に沿って学生の学修基礎を培います。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

それぞれの講義のレポート等は、担当教員が点検・返却する

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

各教員作成のハンドアウト等を使用します。

■参考文献

必要に応じて授業時に指示します。

■オフィスアワー・研究室

担当教員のオフィスアワーと各研究室については、担当者より伝えます。

■備考

授業のレポート課題提出、キャリアポートフォリオの記入を行うこと
キャリアポートフォリオを授業時に活用するため、パソコンを持参してください。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 白井他	授業態度・姿勢について 専門教育の概要とビデオ視聴 キャリアポートフォリオ及び総合ポートフォリオについて	予習 シラバスを読む 復習 キャリアポートフォリオの記入	60分
2回 水野	服装マナー、ドレスコードについて グループディスカッション キャリアポートフォリオ②	予習 服選びをどのようにしているか考える 復習 キャリアポートフォリオの記入	60分
3回 鈴木康	社会的命題とファッションの位置付け	予習 SDGs17の目標について目を通しておく 復習 環境保全に役立つファッションを考える	60分
4回 手島	有意義な学生生活①心の健康と学生生活:グループディスカッションを通し「精神的健康」「ストレス」について理解する	復習 授業内で紹介する心理学関連の動画資料(Ted Talks)を視聴し、自己を振り返る	60分
5回 外川	有意義な学生生活②学生生活と食事 朝食に着目したグループディスカッション	予習 授業前日の食事をふりかえる 復習 「明朝からできること」を実践する	60分
6回 水上	有意義な学生生活③基礎体力と生活リズム:健康・運動をキーワードに時間の使い方をグループ討議し理想の1日を作成	予習授業で使用する「北海道大学講座編活き活きとした身体作り」「実践編」を視聴する	60分
7回 北澤	ことばのバリエーションを知る ー日本語と英語の比較からー	復習 身近なことばの使用について考える 関連するTED Talksなどの動画を視聴する	50分
8回 五月女	情報リテラシー ー情報の真偽と生成AIの倫理（データとプライバシー）ー	復習 「個人情報保護」の観点から情報の取り扱いを考える	60分
9回 鈴木桜	一冊の本に出会う ー自分にとっての大切なフレーズー	予習 図書館HPの検索機能を使ってみよう 復習 本との出会いを求めて図書館に行こう	60分
10回 水野	卒業生の講演	復習 卒業生の学生時代、現在の話から、自身の目標の確認をする	60分
11回 桐山	創作の目的意識 ー デザインすることー	予習 デザインについて考察する 復習 講義を踏まえ、デザインを考察	60分
12回 千代崎	創作倫理（研究者倫理）ー著作権と学修ー 他者と自身を守る・研究と制作の記録を残し活用する	予習 著作権に関する記事に目を通しておく 復習 自身の研究と著作権を関連付け考察する	60分
13回 伊藤	博物館・美術館を利用しよう 博物館・美術館の活動について知る 学生員の活動について知る	予習 展覧会情報等を検索する 復習 博物館・美術館等が提供の研究・教育リソースを閲覧	90分
14回 伊藤	伝統芸能を鑑賞しよう 伝統芸能の概説 伝統芸能の鑑賞の仕方を知る	予習 動画を見てみる 復習 公的機関等が提供している研究・教育リソースを閲覧	90分
15回 水野	講演会 まとめ キャリアポートフォリオ 記入	復習 フィードバックされた内容を確認する	30分

文章表現

伊藤 高広

服飾文化学科 1年 前期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

自分の判断や意見、発想などを相手に伝えるためには、わかりやすい文章を書かなければなりません。ワークシートや文章作成などで、そのための練習をします。2年次以降の、レポート・論文執筆のための基礎的訓練でもあります。また、さまざまな文章を読み、そこから正しい情報を読み取る練習もします。

■到達目標（学修成果）

文章表現の基礎を身につけ、自分の考えを相手にうまく伝えることができるようになる。様々なメディアの情報を読み解き、判断できる能力を養う。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目で、卒業に必要な科目です。社会人としての資質・能力を養います。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

提出された課題は次時添削して返却。清書して提出、次時添削・評価して返却。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

毎時、新聞記事等を資料として配布する

■参考文献

授業中に適宜紹介する

■オフィスアワー・研究室

月曜12:30～13:30 文章表現研究室（研究棟1階）

■備考

原稿用紙・ノート・ファイルを用意しておくこと

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 伊藤	ガイダンス～作文の基礎 文と文章 毎時、添削・口頭指導等を行う	シラバスに目を通しておく	30分
2回 伊藤	作文の基礎 文章の基本的なルール① 説明文を書く	復習 課題について情報を収集し、知識を深める	60分
3回 伊藤	作文の基礎 文章の基本的なルール②	復習 添削された原稿を見直す	30分
4回 伊藤	作文の基礎 文章の構成① 意見文を書く	復習 課題についてweb等を利用して情報を収集する	60分
5回 伊藤	作文の基礎 文章の構成②	復習 添削された原稿を見直す	30分
6回 伊藤	自分の考えを表現する 根拠を明確にする① 新聞記事を参考に、自分の意見をまとめる	復習 課題についてweb等を利用して情報を収集する	60分
7回 伊藤	自分の考えを表現する 根拠を明確にする②	復習 添削された原稿を見直す	30分
8回 伊藤	自分の考えを表現する 考える道筋を意識する① 比較する文章を書く 感性と理性との関係を意識する	復習 課題についてweb等を利用して知識を深める	60分
9回 伊藤	自分の考えを表現する 考える道筋を意識する②	復習 添削された原稿を見直す	30分
10回 伊藤	情報を読み解く 文章やデータを正確に読み取る① 複数の資料を参考に、情報を正確に把握する	復習 課題について、情報を整理してまとめる	60分
11回 伊藤	情報を読み解く 文章やデータを正確に読み取る②	復習 足りなかった部分を調べる	30分
12回 伊藤	情報を読み解く 複数の視点から情報を読み解く① 意見を出し合って複眼的な取り組みができるようにする	復習 課題について、情報を整理してまとめる	60分
13回 伊藤	情報を読み解く 複数の視点から情報を読み解く②	復習 足りなかった部分を調べる	30分
14回 伊藤	2年時以降に向けて① レポートや小論文をかくための約束事を確認する	復習 個々の課題を発見する	30分
15回 伊藤	2年時以降に向けて②	復習 足りなかった部分を調べる	30分

情報演習Ⅰ（学修ポートフォリオを含む）

水越 綾

服飾文化学科

1年

前期

必修

（3単位 講義／演習）

■授業の方針・概要

本授業ではMicrosoftOfficeアプリケーションの利用を主軸とし、それら基礎スキルの定着を図ります。Society5.0実現に向けて社会は凄まじいスピードで変化が起きています。とりわけテクノロジー系の情報の更新は著しく、自ら意識して情報をアップデートする習慣を身に付ける必要があります。今、社会で話題になっているニュースに触れる機会を持ち、デジタル社会で生活する社会人として、私たちはどのようにデジタルツールと関わってゆけば良いのか、求められる資質・能力、必要な振る舞いについて、授業を通してデジタルシティズンシップを涵養してゆきます。

■到達目標（学修成果）

1. PCの基本的操作に慣れ、基本的な用語を理解する。2. デバイスを問わず、互換性のあるアプリケーションを活用することができる。3. デジタル・ITに関するニュースに関心を持ち、それを課題等に反映することができる。4. 建学の精神である「創造する力」「挑戦する力」「自立する能力」を向上させるための努力ができる。5. デジタルシティズンシップ概念を理解し、日常生活に活かすことができるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目であり、卒業要件科目です。基本的なITスキル・デジタルシティズンシップ概念を身に付け、社会人としての資質・能力の向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題の講評は授業内に実施。練習課題においてはmanabaを通じてフィードバックを行ないます。また課題によっては学生間でフィードバックを実施します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

日経パソコンEdu

■参考文献

情報通信白書（総務省）、IPA DX白書（独立行政法人情報処理推進機構）。ほかにも省庁・自治体等のWebサイト

■オフィスアワー・研究室

授業初回にアナウンスします

研究室 研究棟1階6012B

■備考

システム課より発行されたIDとパスワードは授業時必携。授業内容は進行具合により、前後する可能性がある。その場合は事前にアナウンスします。サポートを行なっているので、積極的に利用して下さい

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 水越	初回ガイダンス、コンピューター室使用のルール、manaba、active mail、Windows基本操作の確認	予習：PC基本操作を予め確認しておく。manaba、activmailにログインしてみる。	90分
2回 水越	エッセイを作成する① 到達目標とループリックの確認 Wordの基本操作	予習：manabaの課題指示について確認をし、課題を進めておく。	90分
3回 水越	エッセイを作成する②Adobeアカウント作成、Adobe Firefly生成AIに絡む諸問題と著作権問題／生成AIで挿絵作成	予習：AdobeFireflyユーザーガイドラインに目を通しておく。課題を進めておく。	90分
4回 水越	エッセイを作成する③ 印刷、保存形式について（PDF形式） 到達目標とループリックを確認／自己採点と他者評価	日経パソコンEduにログインし、指定のコンテンツに目を通しレポートを作成・提出する。	90分
5回 水越	日経パソコンEduの使い方／デジタルシティズンシップとは グループワーク（PowerPoint）①	予習：『デジタルシティズンシップ』について各自調べ、なぜ必要かを考える。	90分
6回 水越	グループワーク（PowerPoint）②他者に伝わる資料とは。 スライド結合／引用情報の扱い	予習：授業内の課題を進めておく。／日経パソコンEdu課題を行う。	90分
7回 水越	グループワーク（PowerPoint）③発表ループリックの確認 発表準備・スクリーン表示用と印刷用、PDF変換／ノート	予習：授業内の課題を進めておく。／日経パソコンEdu課題を行う。	90分
8回 水越	グループワーク（PowerPoint）④プレゼンテーション 自己採点と相互評価、振り返り（個別・グループ）、講評	予習：発表用ループリックを確認し、発表の準備・練習をしておく。／日経Edu課題。	90分
9回 水越	Excel基礎①（基本、データ入力、表作成・関数・グラフ作成、データベース作成）	予習：日経Edu課題／統計局・自治体が公開している情報にアクセスしてみる。	90分
10回 水越	Excel基礎②／私たちの身の回りにある統計情報（統計局・自治体）にアクセスしてみる。	予習：日経Edu課題／統計局・自治体が公開している情報にアクセスしてみる。	90分
11回 水越	まとめ課題①（情報デザイン。伝わるデザイン） 課題の到達目標の確認・制作ループリックの確認	予習：日経Edu課題／統計局・自治体が公開している情報にアクセスしてみる。	90分
12回 水越	まとめ課題②（情報デザイン。伝わるデザイン）	予習：日経Edu課題／課題を進めておく。	90分
13回 水越	まとめ課題③（情報デザイン。伝わるデザイン）	予習：日経Edu課題／課題を進めておく。	90分
14回 水越	まとめ課題④（情報デザイン。伝わるデザイン） 課題の到達目標の確認・発表ループリックの確認	予習：日経Edu課題／課題を進めておく。	90分
15回 水越	まとめ課題⑤（情報デザイン。伝わるデザイン）発表・議論 自己採点と相互評価、振り返り（個別・グループ）、講評	予習：発表の準備・練習をしておく。 課題：授業取組への振り返り	90分

情報演習Ⅱ（学修ポートフォリオを含む）

水越 綾

服飾文化学科

1年

後期

必修

（3単位 講義／演習）

■授業の方針・概要

本授業では、Adobe Photoshop, Illustrator等の基礎的スキルを身につけることを主軸にしつつ、常に機能がアップデートされてゆくアプリケーションを継続的かつ効果的に活用してゆく為に、自ら必要な情報やスキルを収集・修得する姿勢、能動的に挑戦、創造する力を育む授業です。また、課題制作・発表を通して学習者間における相互評価を取り入れることにより、他者の取り組み作品から様々な視点や感性に触れ、そこからさらに自分自身の作品と客観的に向き合い、それを次に繋げるといった自らスキル向上する為の力を養うための練習をおこないます。

■到達目標（学修成果）

1. Adobe Photoshop, Illustrator等の基礎を理解し、夫々の機能や用途の違いを理解し、目的に応じた使い分けやアプリケーションを連携して作業が行える。2. 著作物の扱いについて理解し、適切に扱う事ができる。3. デジタル・ITに関するニュースに関心を持ち、それを課題等に反映する事ができる。4. 課題制作に取り組む上で、「創造する力」「挑戦する力」「自立する能力」を向上させる為の努力ができる。5. デジタルシティズンシップ概念を理解し、日常生活に活かす事ができるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目であり、卒業要件科目である。基本的なITスキル・デジタルシティズンシップ概念を身に付け、社会人としての資質・能力の向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題の講評は授業内に実施。練習課題においてはmanabaを通じてフィードバックを行ないます。また課題によっては学生間でフィードバックを実施します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

日経パソコンEdu（前期にも利用したオンラインサービス）

■参考文献

AdobeCreativeCloudには様々なクリエイティブ情報やティップスが掲載されているので頻繁にチェックしておくとい良いでしょう。他に必要があればその都度アナウンスします。

■オフィスアワー・研究室

研究棟1階 6012B 情報基礎研究室

オフィスアワーについては初回授業時にお知らせします

■備考

システム課より発行されたIDとパスワードが必要となるので授業時に忘れないで下さい。授業内容は進行具合により、前後する可能性がある。その場合は事前にアナウンスします。サポートを行なっているので、積極的に利用して下さい。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 水越	初回ガイダンス／Photoshop基礎①（新規作成、レイヤー、ツール、パネル等）／操作ノートの記録	課題を進めておく。／日経パソコンEdu課題	90分
2回 水越	Photoshop基礎②（色調補正、変形、保存形式、フィルタ、着色等）／操作ノートの記録	予習：指定動画でPhotoshop基礎を理解しておく。／日経Edu課題	90分
3回 水越	PHOTOSHOP基礎③（ペンツール、プロパティ、ヒストリー、タッチ等）／操作ノートの記録	予習：指定動画でPhotoshop基礎を理解しておく。／日経Edu課題	90分
4回 水越	PHOTOSHOP・firefly練習課題①好きなデザインを模写して表現手法を学ぶ（到達目標の確認・著作権について）	予習：指定動画でPhotoshop表現手法を調べておく。／日経Edu課題	90分
5回 水越	PHOTOSHOP・firefly練習課題②好きなデザインを模写して表現手法を学ぶ／操作ノートの記録	予習：指定動画で課題制作において有用な表現手法を調べておく。／日経Edu課題	90分
6回 水越	PHOTOSHOP・firefly練習課題③好きなデザインを模写して表現手法を学ぶ／操作ノートの記録	予習：指定動画で課題制作において有用な表現手法を調べておく。／日経Edu課題	90分
7回 水越	PHOTOSHOP・firefly練習課題④発表・相互評価・講評・振り返り	予習：作品を完成させ、発表の準備・練習をしておく。復習：取組の振り返り	90分
8回 水越	ILLUSTRATOR基礎①（画面構成、レイヤー、図形描画、ペンツール練習等）／操作ノートの記録	予習：指定動画でIllustrator基礎を理解しておく。／日経Edu課題	90分
9回 水越	ILLUSTRATOR基礎②（文字・画像のトレース・パス・プロパティ等）／データスキニング／操作ノートの記録	予習：指定動画でIllustrator基礎を理解しておく。／日経Edu課題	90分
10回 水越	ILLUSTRATOR基礎③（文字・画像のトレース・パス・プロパティ等）／形式変換／操作ノートの記録	予習：指定動画でIllustrator基礎を理解しておく。／日経Edu課題	90分
11回 水越	ILLUSTRATORを使った課題作成	予習：指定動画で課題制作に必要な表現手法を調べておく。／日経Edu課題	90分
12回 水越	まとめ課題（Photoshop・Illustrator・firefly連携課題）①自分のブランド企画DMを作成する	予習：指定動画で課題制作に必要な表現手法を調べておく。／日経Edu課題	90分
13回 水越	まとめ課題（Photoshop・Illustrator・firefly連携課題）②自分のブランド企画DMを作成する	予習：指定動画で課題制作に必要な表現手法を調べておく。／日経Edu課題	90分
14回 水越	まとめ課題（Photoshop・Illustrator・firefly連携課題）③自分のブランド企画DMを作成する	予習：指定動画で課題制作に必要な表現手法を調べておく。／日経Edu課題	90分
15回 水越	まとめ課題（Photoshop・Illustrator・firefly連携課題）④／発表・相互評価・講評・振り返り	予習：発表の準備・練習をしておく。課題：課題の振り返り、まとめ	90分

社会人基礎

赤木 久美子

服飾文化学科 1年 前期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

授業担当者の企業での人材育成における実務経験を活かし、多様化の進む社会の中で、自身の強みを活かし活躍するために必要な力を育成するため、講義のみならず、ワークショップやディスカッションを多く取り入れた参加型の授業を行います。社会に必要な「多様性を受け入れる力」「自分の考えを伝える力」「協力してイノベーションを起こす力」を、言語的、数学的、論理的等、様々なアプローチにより講義し、さらに学生自身が体現することで理解を深め、再現性を高めます。

■到達目標（学修成果）

自身の強みを活かし、社会で多様な人々と関わり、活躍するために必要な基礎的能力(コミュニケーション力、言語的能力、数学的思考力、論理的思考力)を理解し、修得することを目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目の卒業認定科目です。

ディプロマポリシー(学位授与の方針)については、「社会人基礎」は専門コースの必修であり、社会人基礎力の向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

15回目に課題の解説を行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

授業の進行に合わせてプリントを配布します。

■オフィスアワー・研究室

連絡研究室：教務課(本校舎1階) 出講日：水曜日

■備考

進度により、日程及び内容を変更する場合があります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 赤木	オリエンテーション、授業計画、社会の変化と必要とされる能力について	予習：シラバスを確認し、授業の概要を把握する	30分
2回 赤木	コミュニケーション力Ⅰ(コミュニケーションタイプ)	復習：自分自身や身近な人の特徴を考える	30分
3回 赤木	自己分析Ⅰ(価値観・興味・能力) ワークショップ・ディスカッション	復習：自己理解を深めるためのポイントを確認する	30分
4回 赤木	自己分析Ⅱ(性格・人物特性) ワークショップ	復習：自己理解を深めるためのポイントを確認する	30分
5回 赤木	プレゼンテーションⅠ(伝わる文章構成法「PREP法」)	復習：自己PR文を作成する	60分
6回 赤木	印象管理(メラビアンの法則) ワークショップ	復習：自己PR文を完成させる	60分
7回 赤木	プレゼンテーションⅡ(スピーチのポイント)	復習：1分間スピーチを練習する	60分
8回 赤木	1分間スピーチの実施(自己PR)	復習：フィードバックシートを確認する	30分
9回 赤木	コミュニケーション力Ⅱ(聴く力)	復習：コミュニケーションの課題と改善ポイントを確認する	30分
10回 赤木	コミュニケーション力Ⅲ(伝える力)	復習：コミュニケーションの課題と改善ポイントを確認する	30分
11回 赤木	ディスカッションの目的とポイント ワークショップ	復習：チームディスカッションでの課題と改善ポイントを確認する	30分
12回 赤木	コミュニケーション力Ⅳ(書く・読む)	復習：手紙の書き方のポイントを確認する	30分
13回 赤木	目標達成のための論理的思考法Ⅰ(SMARTの法則・PDCAサイクル)	復習：目標を具体的にする	30分
14回 赤木	目標達成のための論理的思考法Ⅱ(目的意識の重要性) ワークショップ	復習：全配布資料を確認する	30分
15回 赤木	まとめ 課題のフィードバックを行う	予習：全配布資料を確認する	60分

心理学A

手島 陽介

服飾文化学科 1年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

心理学は、人の行動や心を科学的に研究する学問である。本講義では、基礎心理学の分野を中心に、心理学の全体がつかめるような幅広い領域の理論について、概説する。「心」とは何か、「心理学」とはどのような学問か、グループ学習やディスカッションなど体験的な学習を通して、自ら学び、深めていくことを目指していく。また、服飾業界やビジネス場面において心理学知見がどのように活用されているかにも触れていく。

■到達目標（学修成果）

心理学の領域における概念を理解し知識を身につけるとともに、心理学的な見方ができるようになることが到達目標である。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は、教養科目の選択科目で卒業要件科目である。心理学的知見を身につけ、社会人としての教養・基礎力を培う。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

15回目に課題についての解説と小テストの返却をし、心理学Aのまとめをする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

二宮克美ほか 『ベーシック心理学』 医歯薬出版株式会社
その他、進行に合わせてプリントを配布する。

■参考文献

蓮見将敏ほか（編）『人間関係の心理学』 福村出版
必要に応じて授業時に文献を紹介する。

■オフィスアワー・研究室

前期：水曜日（12：00-15：00）研究室 後期：水曜日（12：00-15：00）研究室
【連絡研究室】心理学研究室（研究棟1階 6015）

■備考

毎時間、プリントと教科書を準備してください

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 手島	心とは何か① - 心理学の定義と研究分野、意識と無意識の世界-	予習:心理学という学問についてのイメージ、何を学びたいかを考えてくる。	30分
2回 手島	心とは何か② - 心理学の活躍する場、心理学の歴史-	復習:プリントを振り返り、日常の心理現象について考える	30分
3回 手島	性格の心理 - 個人の性格について、遺伝と環境、性格テスト-	復習:パーソナリティテストの結果を見て、自身の現在の状況について振り返る	30分
4回 手島	発達心理① - 乳幼児期～児童期までの発達段階と課題-グループディスカッションを通して、発達過程を考える	予習:誕生してから現在までのような発達経過を辿ってきたのか考えてくる	30分
5回 手島	発達心理② - 青年期以降の発達段階と課題、アイデンティティについて-グループワークを行い自我を考える	復習:エリクソンの発達段階説をもとに現在の自分の課題について考える	30分
6回 手島	動機づけ(やる気・モチベーション)のメカニズム - ストレス社会とどう向き合うか、内発的・外発的動機づけ-	復習:自身の身の回りのストレスサーについて考えコーピング方法を検討する	30分
7回 手島	コミュニケーション - 人間関係づくり、円滑なコミュニケーションを行うには、非言語的表現と自己表現-	復習:非言語的コミュニケーションを意識し他者と会話をしてみる	30分
8回 手島	学習はどのように成立するか、記憶の構造とゆがみについて	復習:本日の資料と教科書を振り返り、学習の心理を復習し理解する。	30分
9回 手島	感情のメカニズム① - 人間の感情のメカニズムと分類、感情の表出について-	予習:ここ最近に感じる感情について、出来事との関連を考えてくる	30分
10回 手島	感情のメカニズム② - 欲求不満の心理、ストレスとストレスサーの関係、自我防衛機制-	復習:身の回りのストレスサーについて考え、コーピングを試してみる	30分
11回 手島	集団心理 - 集団の中での行動、社会的促進、リーダーシップについて-	復習:集団の心理的現象について振り返り日常の中での影響について考える	30分
12回 手島	色彩の心理学と服飾 - 色が人のところに影響する要因、知覚(視覚)の機能について、色と服飾の関係-	復習:インテリアや服など周りの色を観察し、心理的な影響について考察する	30分
13回 手島	自分の強み、自分を知る-日常生活の無意識や認知から自分の強みを発見し表現する、自分とは何者かを考える-	復習:授業プリントを振り返り、再度自分の強みについて振り返る	30分
14回 手島	本授業でのまとめ課題と小テスト	予習:配布資料、教科書を読み、復習する。	90分
15回 手島	まとめ 課題や小テストのフィードバックを行う	復習:返却された課題、テストを振り返り、復習する。	60分

心理学B

手島 陽介

服飾文化学科 1年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

本講義では、「心理学A」の授業内容をもとに、基礎心理学から応用心理学への展開を概説する。グループ学習やディスカッションを通して体験的に学び、心理学的な知見がどのように社会場面に活かされているのかを学習していく。

心理学に親しみながら、知識を身につけるとともに、自己理解、他者理解を深めていく。

■到達目標（学修成果）

本講義を通し、論理的な思考力を養い、さまざまな見方や柔軟な行動ができるようになることを目指していく。また、学習したことを、日常生活や社会場面の中で具体的に活用できるようになることが到達目標である。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は、教養科目の選択科目で卒業要件科目である。心理学的知見を身につけ、社会人としての教養・基礎力を培う。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

15回目に課題についての解説と小テストの返却をし、心理学Bのまとめをする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

二宮克美ほか 『ベーシック心理学』 医歯薬出版株式会社
 その他、進行に合わせてプリントを配布する。

■参考文献

蓮見将敏ほか（編）『人間関係の心理学』 福村出版
 必要に応じて授業時に文献を紹介する。

■オフィスアワー・研究室

前期：水曜日（12：00-15：00）研究室 後期：水曜日（12：00-15：00）研究室
 【連絡研究室】心理学研究室（研究棟1階 6015）

■備考

毎時間、プリントと教科書を準備してください

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 手島	心理学とは何か① - 対人認知と印象形成、意識と無意識-	予習:身近な心理的な現象について考えてくる	30分
2回 手島	心理学とは何か② - 対人魅力と人間関係を探る-	復習:プリントを振り返り、対人認知の心理について理解する	30分
3回 手島	影響の心理① - 他者からヒトはどのように影響を受けるかを考える- 交渉や説得について考えるグループワークを行う	習:他者からの影響を受けた経験について振り返り要因を探る	30分
4回 手島	影響の心理② - ビジネス場面での影響の心理学を考える、購買の心理学-	復習:実際のCMや広告などでメディアによる心理的影響について考える	30分
5回 手島	知覚の心理① - ヒトは世界をどのように認識しているのか、ものが見える仕組み、音楽心理学、感覚器官の不思議-	復習:教科書とプリントより、錯視や幾何学図形を見て知覚を振り返る	30分
6回 手島	知覚の心理② - 音と脳の関係、音楽で変わる行動心理、音楽療法の世界-	予習:身の回りの音楽や店舗のBGM、環境音などについて調べてくる	30分
7回 手島	思考の心理① - 「考える」とは何か、問題解決能力とは- グループワークを通して、思考のプロセスを考える	予習:問題を解決した、乗り越えた場面について考えてくる	60分
8回 手島	思考の心理② - 創造性と創造的人格、創造性の段階- グループワークを通して、創造性について考える	復習:創造的な発想のプロセスを復習し、課題に生かしてみる	30分
9回 手島	犯罪の心理 - 犯罪の背景、サイコパスとは何か、法と心理学、犯罪者の心理、犯罪被害者の心理-	復習:配布プリントを振り返り、犯罪心理学の定義やデータについて確認する	30分
10回 手島	精神的健康とは - こころが健康な状態を考える-	予習:現在の自分の健康状態について考えてくる	30分
11回 手島	心と身体の関係① - 認知・感情・行動・身体から心のバランスを考える-	復習:心のモデルに、様々な状況を当てはめて考える	30分
12回 手島	心と身体の関係② - 呼吸法とストレス、睡眠などについて-	復習:呼吸について、日常で体験をする	30分
13回 手島	幸福感と人間関係 - 世界の文化と幸福感、主観的幸福感の要因-	復習:世界の幸福感についてのデータを振り返る	30分
14回 手島	本授業でのまとめ課題と小テスト	予習:配布資料、教科書を読み、復習する。	90分
15回 手島	まとめ 課題や小テストのフィードバックを行う	復習:返却された課題、テストを振り返り、復習する。	60分

文学

伊藤 高広

服飾文化学科 1年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

現在鑑賞可能な日本の古典芸能について、その歴史、思想、文化的背景を概説し、見どころ等を紹介しします。授業では毎時間ノートを作ってもらいます。単にノートをとるのではなく、積極的にノートを作成していくことで、多様な情報を自分なりに整理する訓練とします。

■到達目標（学修成果）

古典芸能を通して、広く日本の精神や文化に触れ、多様な視点を持つことができる。古典芸能を、教養という垣根を超えて、もっと身近なものとして感じてもらいたい。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は教養科目（一般）の選択で卒業要件単位となります。幅広く深い教養と豊かな人間性を涵養するための科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回ノートを集めます。課題等の評価を付して返却します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

必要に応じて資料を配布する。

■参考文献

授業内で適宜指示する

■オフィスアワー・研究室

最初の授業時に指示する

文章表現研究室（研究棟1階）

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 伊藤	概説	予習 シラバスを読んでおく	30分
2回 伊藤	歌舞伎と文楽①	復習 資料を参考にノートを整理する webで検索して映像を見る	30分
3回 伊藤	歌舞伎と文楽②	復習 資料を参考にノートを整理する webで検索して映像を見る	30分
4回 伊藤	寄席の芸能①	復習 資料を参考にノートを整理する webで検索して映像を見る	30分
5回 伊藤	寄席の芸能②	復習 資料を参考にノートを整理する webで検索して映像を見る	30分
6回 伊藤	能と狂言①	復習 資料を参考にノートを整理する webで検索して映像を見る	30分
7回 伊藤	能と狂言②	復習 資料を参考にノートを整理する webで検索して映像を見る	30分
8回 伊藤	古代・中世の音楽	復習 資料を参考にノートを整理する webで検索して映像を見る	30分
9回 伊藤	江戸時代以降の音楽	復習 資料を参考にノートを整理する webで検索して映像を見る	30分
10回 伊藤	民俗芸能①	復習 資料を参考にノートを整理する webで検索して映像を見る	30分
11回 伊藤	民俗芸能②	復習 資料を参考にノートを整理する webで検索して映像を見る	30分
12回 伊藤	アジアの民俗芸能①	復習 資料を参考にノートを整理する webで検索して映像を見る	30分
13回 伊藤	アジアの民俗芸能②	復習 資料を参考にノートを整理する webで検索して映像を見る	30分
14回 伊藤	今では見ることができないもの	復習 資料を参考にノートを整理する webで検索して映像を見る	30分
15回 伊藤	まとめ	復習 実演を見に行く	60分

日本美術史

小林 紗由里

服飾文化学科 1年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

この授業では日本美術史の基本的な流れを紹介しつつ、多様なジャンルの作品を取り上げます。授業担当者の実務経験を活かし、国内の美術館におけるコレクションや関連する展覧会情報も紹介しながら授業を進めていきます。

■到達目標（学修成果）

日本美術史の基本的な見方や時代背景を知り、作品について様々な角度から考察できるようになることを目指します。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の選択科目です。学芸員免許取得のための学芸員課程必修科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

期末レポートの内容を添削・評価後、適宜個別フィードバックを行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

必要に応じて資料を提示します。

■参考文献

山下裕二・高岸輝監修『日本美術史』（美術出版ライブラリー 歴史編）美術出版社、2014年

山本浩貴『現代美術史 欧米、日本、トランスナショナル』中央公論新社、2019年

■オフィスアワー・研究室

連絡や質問等は教務課へお願いします。前期後期：水曜日 連絡先：本校舎1階教務課

■備考

授業の計画に関しては、進行速度や見学先の都合などにより変更の可能性もあります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 小林	オリエンテーション：授業計画・参考文献の紹介など。	シラバスを読んでおいて下さい。	30分
2回 小林	縄文文化と弥生文化	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分
3回 小林	奈良時代の美術	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分
4回 小林	平安時代の美術	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分
5回 小林	鎌倉時代の美術	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分
6回 小林	室町・桃山時代の美術	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分
7回 小林	江戸時代の美術	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分
8回 小林	明治期の美術	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分
9回 小林	大正期の美術	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分
10回 小林	昭和前期の美術	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分
11回 小林	戦後の美術1：前衛芸術の展開	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分
12回 小林	戦後の美術2：概念芸術の展開	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分
13回 小林	戦後の美術3：写真・映像表現の展開	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分
14回 小林	現代の美術1：サブカルチャーと美術	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分
15回 小林	現代の美術2：アート・プロジェクト／芸術祭の発展	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分

西洋美術史

佐倉 香

服飾文化学科 1年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

西洋美術史の代表的な諸作例を時代に沿って概観し、言葉によらない一主に視覚的な表現としての美術がもつ意義の歴史的な変遷を辿ります。毎回スライド（Power Point、時にビデオやDVD）の画像を使用して、時代や様式の特徴、美術表現の見方について学んでゆきます。主題や時代・地域的背景、デザイン、材料・技法その他の側面から立体的に捉えて作例を解説し、毎回の内容に関して各自考察して互いに見解を発表しながら、美術表現がもっている様々な力を探求します。美術館見学で授業に関連する作品を実際に鑑賞し、考察を述べ合う機会も設ける予定です。

■到達目標（学修成果）

- ①西洋の美術史や美術表現に関する基礎的な知識を習得する。
- ②美術表現の見方を自分なりに理解、確立する。
- ③その知識と理解に基づいて、関心を抱いた美術表現を独自に鑑賞・考察し、さらなる発展、また発信へと繋げることができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目の卒業要件単位、学芸員課程必修科目です。古今の美術表現や装飾の変遷とその時代背景等に関する造詣は、服飾に関しても本質的かつ重要な一要素として活かされるものです。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

15回目に小レポートと小テストを返却あるいは解説予定。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

千足伸行監修、『新西洋美術史』，西村書店。
また、授業で随時参考プリントを配布します。

■参考文献

秋山總・田中正之監修、『西洋美術史』，美術出版社，2021．等
その他、必要に応じて授業で紹介します。

■オフィスアワー・研究室

前期：水曜日（12時10分～12時50分）第3校舎1階講師控室、または本校舎1階教務課
後期：水曜日（14時15分～14時35分）第3校舎1階講師控室、または本校舎1階教務課

■備考

毎回テキストを持参してください。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 佐倉	【ガイダンス】講義の概要と文献、また美術表現の見方について、古今の美術表現を取り上げつつ説明する。	シラバスをよく読む。自分なりの効果的な受講法を考える。	30分
2回 佐倉	【先史時代～中世】西洋美術の基盤となる古代エジプト、ギリシア、ローマの美術。中世における宗教的美術。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追究。	30分
3回 佐倉	【ルネサンス、マニエリスム】15-16世紀、文化史の大きな転換点、イタリア・ルネサンスを中心に。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追究。	30分
4回 佐倉	【バロック、ロココ】17-18世紀の西欧各地における美術。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追究。	30分
5回 佐倉	【新古典主義、ロマン主義】18世紀末-19世紀前半における美術。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追究。	30分
6回 佐倉	【レアリズム】19世紀中頃の、美醜を問わず現実の諸相を表現した写実的美術について。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追究。	30分
7回 佐倉	【見学会】美術館を訪れて作品を鑑賞し知識、関心を深め、考察をまとめる（日程等は変更の可能性もある）。	美術館のサイト等で下調べを行う。考察をまとめた見学レポートを作成。	60分
8回 佐倉	【印象主義】19世紀後半の革命的絵画運動であった印象主義の美術。アカデミズムとの対立や人々の反応など。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追究。	30分
9回 佐倉	【後期印象主義、新印象主義】19世紀末における、印象主義後の展開と影響。新しい個性の登場。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追究。	30分
10回 佐倉	【象徴主義、アール・ヌーヴォー】19世紀末-20世紀初頭にかけての、精神性、装飾性などを特徴とする美術。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追究。	30分
11回 佐倉	【フォービズム、エコール・ド・パリ】20世紀初頭の、自由な色彩に特徴をもつ美術を中心に。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追究。	30分
12回 佐倉	【キュビズム】20世紀初頭における、形や構図に特徴をもつ美術を中心に。また「抽象」について。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追究。	30分
13回 佐倉	【ドイッ表現主義、ダダ、シュールレアリスム、戦後の美術】多様な内面表出、二度の大戦後現在までの諸相。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追究。	30分
14回 佐倉	【まとめ】西洋美術の歴史を各回のテーマとともに振り返り、知識を確認し、各自の考察をまとめる。	テキスト、配布物の総復習。任意のテーマについて探究し考察をまとめる。	120分
15回 佐倉	【フィードバック】知識と考察の総復習を行う。	評価から自らの理解を見直し。今後の応用について考える。	30分

憲法

東島 日出夫

服飾文化学科 1年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

この科目では、憲法について学ぶことを主としつつ、法学の入門的位置づけともなるよう工夫しながら授業を進めていきます。授業計画に掲げている様々な項目はもとより、近年話題を集めるトピックなどで、憲法学と関連し得る内容について、参考文献や具体的な判例・裁判例などを通じて理解を深められるようにします。関連する条文および解釈に関する知識を身につけつつ、法的な思考が養えることを目的とします。

■到達目標（学修成果）

「憲法」や「法学」というと、堅苦しくて難しいものというようなイメージがあるかも知れませんが、そうした印象を払拭すべく、身近に起きている様々な事件などを素材に、法的にどのように理解したらよいのか、わかりやすく説明します。また、自らも考えることで、能力、資質の向上をも目指し、将来社会人として生活していくうえで、役に立つような法的知識が得られることを目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目です。なお、教員免許状取得を目指す人にとっては、教職課程必修科目となります。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

14回目に試験、15回目に試験の解説をします。また、毎回リアクションペーパーの提出を求めますが、そこに書かれた質問等に回答します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

毎回資料を配布します。

■参考文献

- ・芦部信喜『憲法（第8版）』（岩波書店、2023年）・初宿正典、大沢秀介他『目で見える憲法(第5版)』（有斐閣、2018年）
- ・渋谷秀樹、赤坂正浩『憲法1人権(第8版)』（有斐閣、2022年）・『憲法2統治(第8版)』（有斐閣、2022年）

■オフィスアワー・研究室

連絡先：教務課（本校舎） 出講日：金曜日

■備考

10回以上出席することを必須とします（10回以上の出席がないと試験を受けても不合格となります）。成績評価は、試験の結果を主としますが、授業態度・姿勢、リアクションペーパーの記載内容等も加味します。授業内容の理解を深めるため、授業資料をもとに必ず予習、復習をしてください。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 東島	ガイダンス、法解釈とは何か、憲法論の概説	シラバスの確認、憲法条文の印刷 （電子政府e-Govサイトで無償入手可）	30分
2回 東島	立憲主義、国民主権、平和主義	授業資料の予習と復習	45分
3回 東島	人権論概説、基本的人権、人権享有主体	授業資料の予習と復習	45分
4回 東島	基本的人権の限界	授業資料の予習と復習	45分
5回 東島	生命・自由・幸福追求権	授業資料の予習と復習	45分
6回 東島	法の下での平等	授業資料の予習と復習	45分
7回 東島	経済的自由権	授業資料の予習と復習	45分
8回 東島	精神的自由権①- 内心の自由-	授業資料の予習と復習	45分
9回 東島	精神的自由権②- 表現の自由-	授業資料の予習と復習	45分
10回 東島	人身の自由①- 刑事手続き-	授業資料の予習と復習	45分
11回 東島	人身の自由②- 裁判を受ける権利-	授業資料の予習と復習	45分
12回 東島	社会権①- 生存権、教育権-	授業資料の予習と復習	45分
13回 東島	社会権②- 勤労権、労働基本権-	授業資料の復習	45分
14回 東島	試験	授業資料の復習	90分
15回 東島	試験の解説、補論	試験問題の振り返り	45分

化学A

野村 直

服飾文化学科 1年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

化学を身近な皮膚や化粧品を主体に学びます。化学は常に生活と共にあり、それを正しく知り、興味を持って利用することは、豊かな生活の助けとなります。加えて、身近な化学を学びながら、物事を科学的な視点で知り、俯瞰し、考える能力を養います。授業担当者の消費財メーカーでの研究開発・事業運営の実体験を活かし、グローバルな観点を含みながら講義します。

■到達目標（学修成果）

皮膚の成り立ちや構造、機能を習得し、化粧品や生活習慣、その他内外的因子の影響と日常の皮膚トラブル発生との関連性を考え、学修し、皮膚を健やかに、そして、美しく保つ方法を習得します。化粧品市場や法規制などについても理解が深まります。また、授業後の皆さんの質問やコメントを共有し解説することで、身近な知識が広がります。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

社会人としての資質、能力を養い、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を滋養する教養科目です。卒業要件の選択科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

フィードバックは授業の中で授業計画に沿って実施する。尚、第2回目レポートと期末試験のフィードバックは添削及び採点終了後、教務課にて返却を以てフィードバックとします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

決まった教科書を定めず、毎回の授業時にプリントを配布します。

■参考文献

「化学ってそういうこと！」日本化学会編（化学同人）、「スキンケアの科学」服部道廣著 裳華房、「ヘアケアってなに？～美しい髪・健康な髪へのアプローチ」花王(株)ヘアケア研究所著 繊維社、他

■オフィスアワー・研究室

金曜日（9時00分～12時30分）本校舎1階教務課

■備考

授業はプロジェクターを使用し、パワーポイントで行いますが、必要に応じてインターネットやDVDも使用します。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 野村	オリエンテーション；授業計画、成績評価基準、科学の歴史と生活の変化、皮膚科学・化粧品科学の概況	予習：シラバスを読む。新聞やその他で最近の科学的話題を読む。自身のトラブル回想。	30分
2回 野村	<皮膚概論1>役割と基本構造、理想の肌とは	予習：自身の皮膚と理想について考える。	30分
3回 野村	<皮膚概論2-1>皮膚の付属器官、皮脂腺・汗腺・爪・毛髪 の役割と構造	予習：自身の皮脂や汗、爪、毛髪について考えておく。	30分
4回 野村	<皮膚概論2-2>皮膚の付属器官、皮脂腺・汗腺・爪・毛髪 の役割と構造	予習：自身の皮脂や汗、爪、毛髪について考えておく。	30分
5回 野村	<皮膚概論3-1>皮膚の性質を変える要因、肌の三大悪	予習：自身の肌トラブルと原因、その対処法を整理しておく。	30分
6回 野村	<皮膚概論3-2>皮膚の性質を変える要因、肌の三大悪	予習：自身の肌トラブルと原因、その対処法を整理しておく。	30分
7回 野村	<皮膚概論4>皮膚の疾患、過脂性と乾燥性、ニキビ・ドライ スキン	予習：自身の肌質やトラブル、原因と対処法を整理しておく。	30分
8回 野村	第1回～第7回のまとめ（課題レポート提出と進捗確認）	予習：第1回～第7回配布資料を振り返り、学習ポイントや自身の考えを整理。	90分
9回 野村	レポートおよび進捗確認のフィードバック	復習：フィードバック内容を再確認。	30分
10回 野村	<皮膚概論5-1>アトピー性皮膚炎とは	復習：配布資料を振り返り、自分や身の回りの人について考え、整理する。	30分
11回 野村	<皮膚概論5-2>アトピー性皮膚炎とは	復習：配布資料を振り返り、自分や身の回りの人について考え、整理する。	30分
12回 野村	<皮膚概論6-1>化学物質と皮膚、刺激性和アレルギー性、 化粧品の安全性	予習：自身のアレルギーや化粧品で困った経験を整理しておく。	30分
13回 野村	<皮膚概論6-2>化学物質と皮膚、刺激性和アレルギー性、 化粧品の安全性	予習：自身のアレルギーや化粧品で困った経験を整理しておく。	30分
14回 野村	<皮膚概論6-3>化学物質と皮膚、刺激性和アレルギー性、 化粧品の安全性	予習：自身のアレルギーや化粧品で困った経験を整理しておく。	30分
15回 野村	第1回～第14回の総まとめ（課題レポート提出）提出物はコ メントを入れ後日返却とし、フィードバックとします。	予習：全配布資料を振り返り、学習ポイントや自身の考えを整理しておく。	90分

化学B

野村 直

服飾文化学科 1年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

化学を身近な皮膚や化粧品を主体に学びます。化学は常に生活と共にあり、それを正しく知り、興味を持って利用することは、豊かな生活の助けとなります。加えて、身近な化学を学びながら、物事を科学的な視点で知り、俯瞰し、考える能力を養います。授業担当者の消費財メーカーでの研究開発・事業運営の実体験を活かし、グローバルな観点を含みながら講義します。加えて、外部専門家による最新の情報を基にした特別実習や講義も予定しています。

■到達目標（学修成果）

皮膚や毛髪の成り立ちや構造、機能を習得し、化粧品や生活習慣、その他内外の因子の影響と皮膚や毛髪のトラブル発生との関連性を考え、学修し、皮膚や毛髪を健やかに、そして、美しく保つ方法を習得します。化粧品市場や法規制などについても理解が深まります。また、授業後の皆さんの質問やコメントを共有し解説することで、身近な知識が広がります。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

社会人としての資質、能力を養い、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を滋養する教養科目であり、卒業要件の選択科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

フィードバックは授業の中で授業計画に沿って実施する。尚、第2回目レポートと期末試験のフィードバックは添削及び採点終了後、教務課にて返却を以てフィードバックとします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

決まった教科書を定めず、毎回の授業時にプリントを配布します。

■参考文献

「化学ってそういうこと！」日本化学会編（化学同人）、「スキンケアの科学」服部道廣著 裳華房、「ヘアケアってなに？～美しい髪・健康な髪へのアプローチ」花王(株)ヘアケア研究所著 繊維社、他

■オフィスアワー・研究室

金曜日（9時00分～12時30分）本校舎1階教務課

■備考

授業はプロジェクターを使用し、パワーポイントで行いますが、必要に応じてインターネットやDVDも使用します

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 野村	オリエンテーション；授業計画、成績評価基準、科学の歴史と生活の変化、皮膚科学・化粧品科学の概況	予習：シラバスを読む。新聞やその他で最近の科学的話題を読む。	30分
2回 野村	<皮膚総論①>皮膚と付属器官の役割と基本構造	予習：自身の皮膚について考えておく。	30分
3回 野村	<皮膚総論②>皮膚トラブル	予習：自身の肌トラブルと原因、その対処法を整理しておく。	30分
4回 野村	<毛髪概論①-1>毛髪の役割と基本構造、基本物性	予習：自身の毛髪やトラブル、原因、対処法を整理しておく。	30分
5回 野村	<毛髪概論①-2>毛髪の役割と基本構造、基本物性	予習：自身の毛髪やトラブル、原因、対処法を整理しておく。	30分
6回 野村	<毛髪概論②-1>毛髪の損傷と構造変化	予習：前回授業のポイント、および、自身の髪トラブルを整理しておく。	30分
7回 野村	<毛髪概論②-2>毛髪の損傷と構造変化	予習：前回授業のポイント、および、自身の髪トラブルを整理しておく。	30分
8回 野村	第1回～第7回のまとめ（課題レポート提出と進捗確認）	予習：第1回～第7回配布資料の学習ポイントや自身の考えを整理。	90分
9回 野村	レポートおよび進捗確認のフィードバック。	復習：フィードバック内容を再確認。	30分
10回 野村	<毛髪概論③-1>ヘアカラー	予習：自身もしくは周りの人のヘアカラーした髪を観察しておく。	30分
11回 野村	<毛髪概論③-2>パーマントウェーブとくせ毛矯正	予習：自身もしくは周りの人のパーマやくせ毛矯正した髪を観察しておく。	30分
12回 野村	<毛髪概論③-2>パーマントウェーブとくせ毛矯正	予習：自身のスタイリングの問題点を整理しておく。	30分
13回 野村	<化粧品の基本組成>界面活性剤	予習：自分の化粧品のパッケージ表・裏を観察しておく	30分
14回 野村	<化粧品の基本組成>香り	化粧品や生活の中のニオイについて考えておく。	30分
15回 野村	第1回～第14回の総まとめ（課題レポート提出）提出物はコメントを入れ後日返却とし、フィードバックとします。	予習：全配布資料を振り返り、学習ポイントや自身の考えを整理しておく。	90分

体育 A

水上 雅子

服飾文化学科 1年 前期又は後期 選択 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

私達は自由から動かすことができます。しかし、他者との同一の動きを行うことは不可能です。本学の体育は、身体活動の実践を通して、他者の身体活動を観察することによって自分の動きとの違いを理解し、自分自身の身体の動きを正確に知ることや、こころの有り様を知ることです。そして、他者との違いを、いかに自分の中に取り入れ融合させるかを学習する“からだの教育”です。コーディネーショントレーニングとチームスポーツから学習します。自ら進んで以下の内容に取り組んで下さい。

■到達目標（学修成果）

この“からだの教育”から生涯において健康で豊かな生活を維持できるよう身体活動を生活化し、環境状況に適応していける能力が培うことができます。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の社会人としての豊かな人間性を涵養することをめざす教養科目の単位となります。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

manabaを使用して授業内の個人の記録を毎回提出してもらいコメントを返す。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

必要に応じて資料を配布する。

■参考文献

随時紹介 経験する種目のルール集 「杉野服飾大学プログラム」（トレーニングプログラム）

■オフィスアワー・研究室

【時間】初回授業で伝える 【研究室】 体育研究室（研究棟2階 6024）

■備考

基本運動：毎回縄跳び（3分間）腹筋・背筋一体力維持、ストレッチなど、身体活動の生活化を目標に取り入れる。
コーディネーショントレーニングの導入 課題1～7を身につける。 状況に応じて内容が変化することあり。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 水上	授業のイメージづくり manaba提出方法、到達目標、自己目標の明確化、仲間づくり P.A.の実施	シラバスを読んでくる。授業で感じたことをまとめる。基本運動3日以上実践する。	40分
2回 水上	ニュースポーツ① ビーチボール、インディアカ、キンボール	ニュースポーツの歴史やルールを調べる。基本運動を3日以上実践する。	30分
3回 水上	バレーボールとソフトバレーボール① ボールを利用した動きづくり	自分のからだの動きについてレポートにまとめる。基本運動を3日以上実践する。	30分
4回 水上	バレーボールとソフトバレーボール② ボールの扱いと移動パス（横・縦）ゲーム	移動パスをして感じたことをレポートにまとめる。基本運動を3日以上実践する。	30分
5回 水上	バレーボールとソフトバレーボール③ 基本的技術の確認と応用技術	技術練習で感じたことをまとめる。基本運動を3日以上実践する。	30分
6回 水上	バレーボールとソフトバレーボール④ 正式なゲーム	バレーボールのルールを調べる。基本運動を3日以上実践する。	30分
7回 水上	ニュースポーツ② アルティメット（フリスビー）	アルティメットについて調べる。基本運動を3日以上実践する。	30分
8回 水上	バスケットボール① 基本的なボールの扱い	基本的な動きを体験し感じたことをまとめる。基本運動を3日以上実践する。	30分
9回 水上	バスケットボール② 基本的な動きと変形ルールでのゲーム	チーム内のポジションと動きを確認する。基本運動を3日以上実践する。	30分
10回 水上	バスケットボール③ 3×3	3×3のルールを調べる。基本運動を3日以上実践する。	30分
11回 水上	バスケットボール④ 正式なゲーム	バスケットボールのルールを調べる。基本運動を3日以上実践する。	30分
12回 水上	ニュースポーツ③ タグラグビー	タグラグビーについて調べる。復習 基本運動を3日以上実践する。	30分
13回 水上	フットサル① 基本的なボールの扱い	フットサルの動画などを観てイメージをつかむ。基本運動を3日以上実践する。	30分
14回 水上	フットサル② 正式なゲーム	フットサルのルールを調べる。基本運動を3日以上実践する。	30分
15回 水上	チームスポーツのまとめ クラス内または合同のスポーツ大会	前期に学んだことを到達目標と比較して振り返りレポートにまとめる。	30分

体育B

水上 雅子

服飾文化学科 1年 後期 選択 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

スポーツも日常の生活も、全て身体活動です。しかし、現在の私たちは“からだ”に対して興味が無く、自分の“からだ”なのを借り物のようです。“からだ”を意識し、どう付き合うのかを学習することは大切です。なぜなら、自分の“からだ”こそ個性であり、身体活動こそ自己を表現する基本だと思うからです。一流のスポーツ選手のパフォーマンスに感動を覚えたことはありませんか。他人の何気ない振る舞いに美しさを感じたことはありませんか。自分の身体活動にも、自然な美しさや自分らしさが表現できたら楽しいと思いませんか。アダプテッドスポーツ、ニュースポーツを経験し、スポーツでの共生を学習します。

■到達目標（学修成果）

授業では、スポーツを通して自己の表現を探し、自分らしさを発見することができます。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の社会人としての豊かな人間性を涵養することをめざす教養科目の単位です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

manabaを使用し、授業内の個人の記録や課題を提出してもらい、コメント・評価を返す。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

必要に応じて資料を配布する。

■参考文献

随時紹介 経験する種目のルール集 『はたらく細胞』（清水茜 講談社）

■オフィスアワー・研究室

初回授業で伝える 【研究室】 体育研究室（研究棟2階 6024）

■備考

基本運動：毎回縄跳び（ダブルタッチなど）・腹筋・背筋一体力維持、ストレッチなど、身体活動の生活化

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 水上	授業のイメージづくり manaba提出方法、到達目標、自己目標の明確化、一人、ペア、グループで動き自分を知る	シラバスを読んでくる。自分の体の動きをまとめる。基本運動を3日以上実践する。	40分
2回 水上	バドミントン① 基本技術の習得 ドライブ・サーブ	シャトルとボールの違いをレポートにまとめる。基本運動を3日以上実践する。	30分
3回 水上	バドミントン② 基本技術の習得 ハイクリア ダブルスゲーム	ダブルスのルールを調べる。基本運動を3日以上実践する。	30分
4回 水上	バドミントン③ 基本技術の習得 ドロップ・ヘアピン シングルスゲーム	シングルスとダブルスのルールの確認。基本運動を3日以上実践する。	60分
5回 水上	バドミントン④ 応用技術の習得① 正式なルールでのゲーム（ダブルス）	基本技術の確認 基本運動を3日以上実践する。	60分
6回 水上	バドミントン⑤ 応用技術の習得② 正式なルールでのゲーム（グループ）	バドミントンについてレポートにまとめる。基本運動を3日以上実践する。	60分
7回 水上	アダプテッドスポーツ① 障害者も健常者も共に楽しめるスポーツを実践してみる。	アダプテッドスポーツを調べる。基本運動を3日以上実践する。	60分
8回 水上	『動きの表現-写真』 グループで動きの感じられる作品づくり（課題）	作品の構想を考えてくる。基本運動を3日以上実践する。	30分
9回 水上	卓球① 基本技術の取得①シングル練習	シングルのルールを調べる。基本運動を3日以上実践する。	30分
10回 水上	卓球② 基本技術の習得②ダブルス練習	ダブルスのルールを調べる。基本運動を3日以上実践する。	30分
11回 水上	卓球③ 応用技術の習得①正式なルールでのゲーム（チーム戦）	ルールと動きの確認をし、レポートにまとめる。基本運動を3日以上実践する。	30分
12回 水上	卓球④ 応用技術の習得②正式なルールでのゲーム（チーム戦）	卓球についてレポートにまとめる。基本運動を3日以上実践する。	60分
13回 水上	アダプテッドスポーツ② 障害者も健常者も共に楽しめるスポーツを実践してみる。	アダプテッドスポーツを調べる。基本運動を3日以上実践する。	60分
14回 水上	アダプテッドスポーツ③ 障害者も健常者も共に楽しめるスポーツを実践してみる。	アダプテッドスポーツを調べる。基本運動を3日以上実践する。	60分
15回 水上	正式ルールでゲームを行う。 各クラスで種目を選択し、実践する。	後期に学んだことを到達目標と比較して振り返りレポートにまとめる。	30分

日本語表現Ⅰ

伊藤 高広

服飾文化学科

1年

前期

選択

(2単位 講義)

■授業の方針・概要

本学留学生が、大学生レベルの文章力をつけるための授業です。
短文からはじまって、短い文章を書けるまでの練習をする
翻訳ソフトを活用しながらでも、ある程度のまとまった分量の文章を書く

■到達目標（学修成果）

正確な日本語で短文を書けるようになる
論文を書くための基礎を身につける

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

外国人留学生の卒業要件科目で、教養必修科目です
社会・文化の相互理解に資する科目です

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各回ごとに課題を添削します

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

大学で学ぶための 日本語ライティング 短文からレポート作成まで
the japan times publishing

■参考文献

必要に応じて指示する

■オフィスアワー・研究室

最初の授業時に指示する
文章表現研究室（研究棟1階）

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 伊藤	授業の方針・概要	予習 シラバスを読んでおく	30分
2回 伊藤	質問に対して適切に回答する①	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
3回 伊藤	質問に対して適切に回答する②	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
4回 伊藤	情報を整理して説明する①	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
5回 伊藤	情報を整理して説明する②	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
6回 伊藤	状況や理由を説明する①	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
7回 伊藤	状況や理由を説明する②	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
8回 伊藤	文章の構成を考える①	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
9回 伊藤	文章の構成を考える②	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
10回 伊藤	小まとめ 確認と短い作文	復習 自分の苦手なところを確認する	60分
11回 伊藤	報告する文章を書く①	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
12回 伊藤	報告する文章を書く②	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
13回 伊藤	意見文を書く①	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
14回 伊藤	意見文を書く②	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
15回 伊藤	前期のまとめ	復習 自分の苦手なところを確認する	60分

日本語表現Ⅱ

伊藤 高広

服飾文化学科 1年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

日本語表現Ⅰに引き続き、本学留学生が、大学生レベルの文章力をつけるための授業です。
短文からはじまって、レポートレベルの文章が書けるまでの練習をする
翻訳ソフトを活用しながらも、ある程度のまとまった分量の文章を書く

■到達目標（学修成果）

正確な日本語でレポートを書けるようになる
論文を書くための基礎を身につける

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

外国人留学生の卒業要件科目で、教養必修科目です
社会・文化の相互理解に資する科目です

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各回ごとに課題を添削します

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

大学で学ぶための 日本語ライティング 短文からレポート作成まで
the japan times publishing

■参考文献

必要に応じて指示する

■オフィスアワー・研究室

最初の授業時に指示する
文章表現研究室（研究棟1階）

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 伊藤	自己紹介の文章を書く①	予習 シラバスを読んでおく	30分
2回 伊藤	自己紹介の文章を書く②	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
3回 伊藤	レポートに特有の表現に慣れる①	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
4回 伊藤	レポートに特有の表現に慣れる②	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
5回 伊藤	引用の仕方を練習する①	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
6回 伊藤	引用の仕方を練習する②	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
7回 伊藤	引用の仕方を練習する③	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
8回 伊藤	資料の使い方を練習する①	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
9回 伊藤	資料の使い方を練習する②	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
10回 伊藤	資料の使い方を練習する③	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
11回 伊藤	小まとめと確認	復習 自分の苦手なところを確認する	60分
12回 伊藤	総合的な作文の練習①	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
13回 伊藤	総合的な作文の練習②	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
14回 伊藤	総合的な作文の練習③	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
15回 伊藤	まとめ	復習 自分の苦手なところを確認する	60分

英語（総合）Ⅰ

伊藤 怜子

服飾文化学科 1年 前期 選択必修（2単位 講義）

■授業の方針・概要

基本的な英語の語彙や文法を確認し、リーディングとリスニングの練習をします。オフィスを舞台にしたストーリー展開になっているテキストを使用するので、ビジネス英語の基礎も学ぶことができます。あわせて、読解演習として、ココ・シャネルの伝記を読み、英文に親しみながらファッション・デザイナー、ココ・シャネルについても学び、グループディスカッションを通して内容の理解を深めます。

■到達目標（学修成果）

音読や筆写といった着実な英語学習の方法が定着する。基本的な文法が確認できる。ビジネスに関する基本的な単語や表現が習得できる。ビジネスでの会話に使える平易な英語表現が習得できる。読解は、英文の構造を理解した上で、その文の意味をとることができる。パラグラフごとの要約ができるようになる。以上を目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（外国語）必修であり、卒業認定に必要な科目です。教養科目としての英語（総合）Ⅰは、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

小テストや課題は次回の授業で返却・解説します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

JACET 教材開発研究会 著 English Locomotion (SEIBIDO)
ココ・シャネルの人生 プリント配布

■参考文献

必要に応じて提示します。

■オフィスアワー・研究室

【研究室】英語研究室（研究棟3階）
【オフィスアワー】第1回の授業で提示します。

■備考

特になし。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 各自	イントロダクション、授業の説明	【予習】シラバスを読む。【復習】授業に必要なものを準備する。辞書など。	30分
2回 各自	【総合】Unit 1 文型(1) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 1	【予習】Unit 1に目を通し、単語を調べる。【復習】英語の語順の復習。	30分
3回 各自	【総合】Unit 1 文型(2) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 1	【予習】Unit 1に目を通し、単語を調べる。【復習】文型の復習。	30分
4回 各自	【総合】Unit 2 自動詞と他動詞(1) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 2	【予習】Unit 2に目を通し、単語を調べる。【復習】命令文の復習。	30分
5回 各自	【総合】Unit 2 自動詞と他動詞(2) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 2	【予習】Unit 2に目を通し、単語を調べる。【復習】自動詞・他動詞の復習。	30分
6回 各自	【総合】小テスト 【リーディング】復習	【予習】小テストの準備。 【復習】場所や時間をたずねる表現の暗記。	30分
7回 各自	【総合】Unit 3 現在形と頻度(1) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 3	【予習】Unit 3に目を通し、単語を調べる。【復習】現在時制の表現の復習。	30分
8回 各自	【総合】Unit 3 現在形と頻度(2) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 3	【予習】Unit 3に目を通し、単語を調べる。【復習】頻度の表現の復習。	30分
9回 各自	【総合】Unit 4 名詞と代名詞(1) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 4	【予習】Unit 4に目を通し、単語を調べる。【復習】名詞の復習。	30分
10回 各自	【総合】Unit 4 名詞と代名詞(2) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 4	【予習】Unit 4に目を通し、単語を調べる。【復習】代名詞の復習。	30分
11回 各自	【総合】Unit 5 前置詞(1) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 5	【予習】Unit 5に目を通し、単語を調べる。【復習】場所を表す前置詞の復習。	30分
12回 各自	【総合】Unit 5 前置詞(2) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 5	【予習】Unit 5に目を通し、単語を調べる。【復習】時を表す前置詞の復習。	30分
13回 各自	【総合】Unit 6 助動詞 【リーディング】復習	【予習】Unit 6に目を通し、単語を調べる。【復習】助動詞の復習。	30分
14回 各自	【総合】復習 【リーディング】復習	【予習】まとめ課題の準備。	30分
15回 各自	まとめ、課題のフィードバック	【復習】課題まとめ	30分

英語（総合）Ⅱ

伊藤 怜子

服飾文化学科 1年 後期 選択必修（2単位 講義）

■授業の方針・概要

英語（総合）Ⅰ（前期）に引き続き、基本的な英語の語彙や文法を確認し、リーディングとリスニングの練習をします。オフィス舞台にしたストーリー展開になっているテキストを使用するので、ビジネス英語の基礎も学ぶことができます。あわせて、読解演習として、ココ・シャネルの伝記を読み、英文に親しみながらデザイナー、ココ・シャネルについても学び、グループディスカッションを通し理解を深めます。

■到達目標（学修成果）

音読や筆写といった着実な英語学習の方法が定着する。基本的な文法が確認できる。ビジネスに関する基本的な単語や表現が習得できる。ビジネスでの会話に使える平易な英語表現が習得できる。読解は、英文の構造を理解した上で、その文の意味をとることができる。パラグラフごとの要約ができるようになる。以上を目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（外国語）必修であり、卒業認定に必要な科目です。教養科目としての英語（総合）Ⅰは、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

小テストや課題は次回の授業で返却・解説します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

JACET 教材開発研究会 著 English Locomotion (SEIBIDO)
ココ・シャネルの人生 プリント配布

■参考文献

必要に応じて提示します。

■オフィスアワー・研究室

【研究室】英語研究室（研究棟3階）
【オフィスアワー】第1回の授業で提示します。

■備考

特になし。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 各自	イントロダクション、授業の説明	【予習】シラバスを読む。【復習】授業に必要なものを準備する。辞書など。	30分
2回 各自	【総合】Unit 7 不定詞と動名詞(1) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 6	【予習】Unit 7に目を通し、単語を調べる。【復習】動名詞の復習。	30分
3回 各自	【総合】Unit 7 不定詞と動名詞(2) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 6	【予習】Unit 7に目を通し、単語を調べる。【復習】不定詞の復習。	30分
4回 各自	【総合】Unit 8 現在分詞(1) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 7	【予習】Unit 8に目を通し、単語を調べる。【復習】現在分詞の復習。	30分
5回 各自	【総合】Unit 8 現在分詞(2) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 7	【予習】Unit 8に目を通し、単語を調べる。【復習】現在分詞の復習。	30分
6回 各自	【総合】小テスト 【リーディング】復習	【予習】小テストの準備。 【復習】場所や時間をたずねる表現の暗記。	30分
7回 各自	【総合】Unit 9 過去分詞(1) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 8	【予習】Unit 9に目を通し、単語を調べる。【復習】過去分詞の復習。	30分
8回 各自	【総合】Unit 9 過去分詞(2) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 8	【予習】Unit 9に目を通し、単語を調べる。【復習】過去分詞の復習。	30分
9回 各自	【総合】Unit 10 現在完了形(1) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 9	【予習】Unit 10に目を通し、単語を調べる。【復習】現在完了の復習。	30分
10回 各自	【総合】Unit 10 現在完了形(2) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 9	【予習】Unit 10に目を通し、単語を調べる。【復習】現在完了の復習。	30分
11回 各自	【総合】Unit 11 形容詞と比較(1) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 10	【予習】Unit 11に目を通し、単語を調べる。【復習】形容詞の復習。	30分
12回 各自	【総合】Unit 11 形容詞と比較(2) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 10	【予習】Unit 11に目を通し、単語を調べる。【復習】比較表現の復習。	30分
13回 各自	【総合】Unit 12 関係代名詞 【リーディング】復習	【予習】Unit 12に目を通し、単語を調べる。【復習】関係代名詞の復習。	30分
14回 各自	【総合】復習 【リーディング】復習	【予習】まとめ課題の準備。	30分
15回 各自	まとめ、課題のフィードバック	【復習】課題まとめ	30分

基礎英会話Ⅰ

伊藤 怜子

服飾文化学科 1年 前期 選択必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

日常生活の様々な場面で、基本的な英語を使ってコミュニケーションをする練習をします。特に、ファッションに関係のあるシチュエーションでの会話を練習するとともに、ファッションに関する単語や表現を学習します。リスニング・スピーキングを中心に練習します。

■到達目標 (学修成果)

1. 日常生活の様々な場面で行なわれる英会話の定型表現を暗記し、自分の言葉として話せるようになる、2. ファッションに関する単語や表現を習得する、3. 英語でプレゼンテーションやディスカッションができるようになる、の3点です。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目 (外国語) 必修であり、卒業認定に必要な科目です。教養科目としての基礎英会話Ⅰは、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

小テストや課題は次回の授業や学内システム経由で返却・解説します。スピーキングは、その都度、コメントをします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	10%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

小塚暁絵、川守田恭枝、コリンズ・キム園子(編) Forward Mode: English for Fashion Students

■参考文献

必要に応じて提示します。

■オフィスアワー・研究室

【研究室】英語研究室 (研究棟3階)

【オフィスアワー】第1回の授業で提示します。

■備考

特になし。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	イントロダクション、授業の説明、自己紹介	【予習】シラバスを読む。【復習】授業のタスクについて流れを整理する。	30分
2回 各自	MY NAME STORY 自分の名前についての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】名前に関する表現の復習。	30分
3回 各自	DESCRIBING MYSELF 自分のパーソナリティについての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】性格に関する表現の復習。	30分
4回 各自	MY FAVORITE FASHION ITEM ファッションアイテムや色についての会話	【予習】教科書に目を通す。【復習】アイテムや色に関する表現の復習。	30分
5回 各自	DESCRIBING FASHION ITEMS 服の模様・素材についての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】模様等に関する表現の復習。	30分
6回 各自	DESCRIBING FASHION ITEMS 服の模様・素材についての会話 (続き)	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】素材等に関する表現の復習。	30分
7回 各自	MY FAVORITE FASHION TREND ファッショントレンドについての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】トレンドに関する表現の復習。	30分
8回 各自	MY FAVORITE FASHION TREND ファッショントレンドについての会話 (続き)	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】トレンドに関する表現の復習。	30分
9回 各自	FASHION AS MY IDENTITY アイデンティティについての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】個性に関する表現の復習。	30分
10回 各自	FASHION AS MY IDENTITY アイデンティティについての会話 (続き)	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】個性に関する表現の復習。	30分
11回 各自	THE IMPORTANT THINGS 自分の大切なものについての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】宝物に関する表現の復習。	30分
12回 各自	THE IMPORTANT THINGS 自分の大切なものについての会話 (続き)	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】宝物に関する表現の復習。	30分
13回 各自	WHAT I LEARNED FROM OTHERS 自分に影響を与えた人についての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】人物に関する表現の復習。	30分
14回 各自	WHAT I LEARNED FROM OTHERS 自分に影響を与えた人についての会話 (続き)	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】人物に関する表現の復習。	30分
15回 各自	まとめ、講評	【予習】これまでの授業内容の復習をする。【復習】授業のまとめの振り返りをする。	30分

基礎英会話Ⅱ

伊藤 怜子

服飾文化学科 1年 後期 選択必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

基礎英会話Ⅰに引き続き、ファッションに関係のあるシチュエーションでの会話を取り入れながら、日常生活の様々な場面での会話練習をしていきます。リスニング・スピーキングを中心に練習します。

■到達目標 (学修成果)

1. 日常生活の様々な場面で行なわれる英会話の定型表現を暗記し、自分の言葉として話せるようになる、2. ファッションに関する単語や表現を習得する、3. 英語でプレゼンテーションやディスカッションができるようになる、の3点です。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目 (外国語) 必修であり、卒業認定に必要な科目です。教養科目としての基礎英会話Ⅱは、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

小テストや課題は次回の授業や学内システム経由で返却・解説します。スピーキングは、その都度コメントをします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	10%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

小塚暁絵、川守田恭枝、コリンズ・キム園子(編) Forward Mode: English for Fashion Students

■参考文献

必要に応じて提示します。

■オフィスアワー・研究室

【研究室】英語研究室 (研究棟3階)

【オフィスアワー】第1回の授業で提示します。

■備考

特になし。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	イントロダクション、授業の説明	【予習】シラバスを読む。【復習】授業のタスクについて流れを整理する。	30分
2回 各自	MY FAVORITE PLACE お気に入りの場所についての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】場所に関する表現の復習。	30分
3回 各自	TRANSPORTATION 交通手段・移動についての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】交通手段に関する表現の復習。	30分
4回 各自	MY PASSION 自分が情熱を注いでいることについての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】情熱に関する表現の復習。	30分
5回 各自	FINDING MY INNER PEACE 感情をコントロールする方法についての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】方法に関する表現の復習。	30分
6回 各自	FINDING MY INNER PEACE 感情をコントロールする方法についての会話 (続き)	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】方法に関する表現の復習。	30分
7回 各自	MY FAVORITE LOCAL DISH 郷土料理についての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】郷土料理に関する表現の復習。	30分
8回 各自	MY FAVORITE LOCAL DISH 郷土料理についての会話 (続き)	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】郷土料理に関する表現の復習。	30分
9回 各自	MY FAVORITE POP CULTURE 文化についての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】文化に関する表現の復習。	30分
10回 各自	MY FAVORITE POP CULTURE 文化についての会話 (続き)	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】文化に関する表現の復習。	30分
11回 各自	MY PART-TIME JOB EXPERIENCES アルバイト経験についての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】仕事に関する表現の復習。	30分
12回 各自	JOB INTERVIEWS 仕事についての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】仕事に関する表現の復習。	30分
13回 各自	THE FASHION INDUSTRY 服飾業界についての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】服飾業界に関する表現の復習。	30分
14回 各自	THE FASHION INDUSTRY 服飾業界についての会話 (続き)	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】服飾業界に関する表現の復習。	30分
15回 各自	まとめ、講評	【予習】これまでの授業内容の復習をする。【復習】授業のまとめの振り返りをする。	30分

フランス語（総合）Ⅰ

福本 しのぶ

服飾文化学科

1年

前期

選択必修（2単位 講義）

■授業の方針・概要

ボンジュール！まずは挨拶から。テキストに沿って文法の基礎を学びながら、フランス語（会話）Ⅰを理解できるようになり、フランス語の楽しさを実感できます。フランス生まれ育ちの授業担当者による経験を活かし、生きたフランス語を学びましょう。

■到達目標（学修成果）

フランス語への抵抗感をなくし、フランス旅行をする時に役立ち、使えるフランス語を身につけ、基本的な文章の理解・作成ができ、フランス語サイトなど検索できるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（外国語）必修であり、卒業認定に必要な科目です。服飾業界で活躍するための資質・能力を養い、広く深い教養と総合的判断力を培うことを目指しています。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業開始時に、前回内容の復習/活用を行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

フランス語（会話）Ⅰと共用

「Dis-moi tout!（ぜんぶ話して!）」（白水社）

■参考文献

辞書が必要な方は「Le Dico 仏和辞典」（白水社）

大学図書館に豊富に備えられているフランス語の書籍やDVD

■オフィスアワー・研究室

木曜日（12：20～12：50）第3校舎講師控室

■備考

フランス人との交流を試みるので、授業内容が変更することもある。

希望者には、毎年6・11月に学内で実施予定の実用フランス語検定試験の受験希望者対象に随時補習を行う。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 1	フランスを知る フランスと日本の関わり合い 基本のあいさつ	予習：シラバスを読む	30分
2回 2	アルファベ・筆記体・発音の決まり・つづり字	講義メモ整理・発音練習	30分
3回 3	発音の決まり・つづり字 ①	講義メモ整理・発音練習	30分
4回 4	発音の決まり・つづり字 ②	講義メモ整理・発音練習	30分
5回 5	私は誰？ あなたの職業は？	これまでの授業での疑問点まとめ 講義メモ整理・発音練習	30分
6回 6	フランスの賞味期限 ものの形	講義メモ整理・発音練習	30分
7回 7	大好き！ 大嫌い！ 名詞・発音	講義メモ整理・発音練習	30分
8回 8	どこで？ 誰と？ 何を？ 不定冠詞	講義メモ整理・発音練習	30分
9回 9	だけど… でも…	講義メモ整理・発音練習	30分
10回 10	持っている 持っていない 大きい/小さい	これまでの授業での疑問点まとめ 講義メモ整理・発音練習	30分
11回 11	いる？ いない？ 数字	講義メモ整理・発音練習	30分
12回 12	わたしの… あなたの…	講義メモ整理・発音練習	30分
13回 13	家族を紹介しよう！	講義メモ整理・発音練習	30分
14回 14	する？ しない？	講義メモ整理・発音練習	30分
15回 15	夏休みの過ごし方	自分のフランスへの興味をまとめる	60分

フランス語（総合）Ⅱ

福本 しのぶ

服飾文化学科

1年

後期

選択必修（2単位 講義）

■授業の方針・概要

Bonjour et merci！ フランス人は挨拶が大好きです。フランス語（会話）Ⅱをより理解できるようにテキストに沿って文法の基礎を学びながら、フランス語を楽しみましょう。最後には簡単な文章を作成し、発表します。

■到達目標（学修成果）

フランス語への抵抗感をなくし、フランス旅行をする時に役立ち、使えるフランス語を身につけ、基本的な文章の理解・作成ができ、フランス語サイトなど検索できるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（外国語）必修であり、卒業認定に必要な科目です。服飾業界で活躍するための資質・能力を養い、広く深い教養と総合的判断力を培うことを目指しています。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業開始時に、前回内容の復習/活用を行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

フランス語（会話）Ⅰと共用

「Dis-moi tout!（ぜんぶ話して!）」（白水社）

■参考文献

辞書が必要な方は「Le Dico 仏和辞典」（白水社）

大学図書館に豊富に備えられているフランス語の書籍やDVD

■オフィスアワー・研究室

木曜日（12：20～12：50）第3校舎講師控室

■備考

フランス人との交流を試みるので、授業内容が変更することもある。

希望者には、毎年6・11月に学内で実施予定の実用フランス語検定試験の受験希望者対象に随時補習を行う。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 1	フランス語（総合）Ⅰの復習	予習：これまでの授業を復習	30分
2回 2	夏休みどう過ごした？ 【過去を話す】	講義メモ整理・発音練習	30分
3回 3	食べる 飲む	講義メモ整理・発音練習	30分
4回 4	カフェ/レストランにて テーブルマナー	講義メモ整理・発音練習	30分
5回 5	どこに行く？ どこから来た？ 【未来を話す】	これまでの授業での疑問点まとめ 講義メモ整理・発音練習	30分
6回 6	メトロに乗ってみよう！フランスの移動手段	講義メモ整理・発音練習	30分
7回 7	フランス映画を見る ①	講義メモ整理・発音練習	30分
8回 8	フランス映画を見る ②	講義メモ整理・発音練習	30分
9回 9	やる？ 聞く？ 話す？ 読む？	講義メモ整理・発音練習	30分
10回 10	習慣いついてたずねる/答える	これまでの授業での疑問点まとめ 講義メモ整理・発音練習	30分
11回 11	可能性について	講義メモ整理・発音練習	30分
12回 12	大学図書館でフランス語の資料を探そう！	講義メモ整理・発音練習	30分
13回 13	昨日なにをした？	講義メモ整理・発音練習	30分
14回 14	1日の行動を文章にしてみよう	講義メモ整理・発音練習	30分
15回 15	これまでの内容を使ってフランス語でレポート発表！	レポートをまとめる	60分

フランス語（会話）Ⅰ

福本 しのぶ

服飾文化学科

1年

前期

選択必修（2単位 講義）

■授業の方針・概要

ボンジュール！まずは挨拶から。自然にフランス語を聞き分けられるよう、聞き取り力をつけるとともに、フランス語の発音を身につけ、自然にフランス語で挨拶、自己紹介ができるように頑張りましょう。出席すればするほど力が定着し、フランス語（会話）Ⅰがより理解できるようになり、フランス語の楽しさを実感できます。フランス生まれ育ちの授業担当者による経験を活かし、生きたフランス語を学びましょう。

■到達目標（学修成果）

フランス語への抵抗感をなくし、フランス旅行をする時に役立ち、使えるフランス語を身につけ、基本的な文章の理解・作成ができ、フランス語サイトなど検索できるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（外国語）必修であり、卒業認定に必要な科目です。服飾業界で活躍するための資質・能力を養い、広く深い教養と総合的判断力を培うことを目指しています。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業開始時に、前回内容の復習/活用を行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

フランス語（総合）Ⅰと共用

「Dis-moi tout!（ぜんぶ話して!）」（白水社）

■参考文献

辞書が必要な方は「Le Dico 仏和辞典」（白水社）

大学図書館に豊富に備えられているフランス語の書籍やDVD

■オフィスアワー・研究室

木曜日（12：20～12：50）第3校舎講師控室

■備考

フランス人との交流を試みるので、授業内容が変更することもあります。

希望者には、毎年6・11月に学内で実施予定の実用フランス語検定試験の受検希望者対象に随時補習を行っています。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 1	基本のあいさつ アルファベ・発音の決まり・つづり字 ①	予習：シラバスを読む	30分
2回 2	アルファベ・発音の決まり・つづり字 ②	講義メモ整理・発音練習	30分
3回 3	発音の決まり・ルール【アクセント】	講義メモ整理・発音練習	30分
4回 4	発音の決まり・ルール【フランス人らしく発音するには】	講義メモ整理・発音練習	30分
5回 5	単語を増やそう【国名、国籍、職業】	これまでの授業での疑問点まとめ 講義メモ整理・発音練習	30分
6回 6	単語を増やそう・発音【曜日、月、季節、数字（1～20）】	講義メモ整理・発音練習	30分
7回 7	単語を増やそう【名詞の性と数】	講義メモ整理・発音練習	30分
8回 8	単語を増やそう【冠詞と人称代名詞、数字（21～60）】	講義メモ整理・発音練習	30分
9回 9	単語を増やそう【否定系】	講義メモ整理・発音練習	30分
10回 10	動詞 êtreとavoir【自己紹介/家族の紹介、数字（61～100）】	これまでの授業での疑問点まとめ 講義メモ整理・発音練習	30分
11回 11	動詞 -er動詞	講義メモ整理・発音練習	30分
12回 12	動詞を増やそう	講義メモ整理・発音練習	30分
13回 13	家族を紹介しよう！	講義メモ整理・発音練習	30分
14回 14	フランスの記念日	講義メモ整理・発音練習	30分
15回 15	夏休みの過ごし方	これまでの授業での疑問点まとめ 自分のフランスへの興味をまとめる	60分

フランス語（会話）Ⅱ

福本 しのぶ

服飾文化学科

1年

後期

選択必修（2単位 講義）

■授業の方針・概要

Bonjour！挨拶はできるようになりました。自然にフランス語を聞き分けられるようになり、フランス語の発音も身についたことと思います。自然にフランス語で挨拶、自己紹介ができるようになり、もう少しフランス語で会話をしてみましょう。出席すればするほど力が定着し、フランス語がより理解できるようになり、フランス語の楽しさを実感できます。フランス生まれ育ちの授業担当者による経験を活かし、生きたフランス語を学びましょう。

■到達目標（学修成果）

フランス語への抵抗感をなくし、フランス旅行をする時に役立ち、使えるフランス語を身につけ、基本的な文章の理解・作成ができ、フランス語サイトなど検索できるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（外国語）必修であり、卒業認定に必要な科目です。服飾業界で活躍するための資質・能力を養い、広く深い教養と総合的判断力を培うことを目指しています。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業開始時に、前回内容の復習/活用を行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

フランス語（総合）Ⅰと共用

「Dis-moi tout!（ぜんぶ話して!）」（白水社）

■参考文献

辞書が必要な方は「Le Dico 仏和辞典」（白水社）

大学図書館に豊富に備えられているフランス語の書籍やDVD

■オフィスアワー・研究室

木曜日（12：20～12：50）第3校舎講師控室

■備考

フランス人との交流を試みるので、授業内容が変更することもあります。

希望者には、毎年6・11月に学内で実施予定の実用フランス語検定試験の受検希望者対象に随時補習を行っています。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 1	フランス語（会話）Ⅰの復習 発音チェック①	予習：シラバスを読む	30分
2回 2	発音の決まり①	講義メモ整理・発音練習	30分
3回 3	発音チェック②	講義メモ整理・発音練習	30分
4回 4	発音の決まり②	講義メモ整理・発音練習	30分
5回 5	単語を増やそう【色、服、もの】	これまでの授業での疑問点まとめ 講義メモ整理・発音練習	30分
6回 6	単語を増やそう【定冠詞、不定冠詞】	講義メモ整理・発音練習	30分
7回 7	動詞 -ir動詞	講義メモ整理・発音練習	30分
8回 8	動詞を増やそう	講義メモ整理・発音練習	30分
9回 9	動詞 不規則動詞	講義メモ整理・発音練習	30分
10回 10	動詞を増やそう	これまでの授業での疑問点まとめ 講義メモ整理・発音練習	30分
11回 11	フランスのクリスマスと年越し	講義メモ整理・発音練習	30分
12回 12	これまでの復習【単語整理】	講義メモ整理・発音練習	30分
13回 13	単語練習 ①	講義メモ整理・発音練習	30分
14回 14	単語練習 ②	講義メモ整理・発音練習	30分
15回 15	一年を振り返って	これまでの授業での疑問点まとめ 自分のフランスへの興味をまとめる	60分

中国語（総合）Ⅰ

盧 繁華

服飾文化学科

1年

前期

選択必修（2単位 講義）

■授業の方針・概要

中国語と日本語との構文上の大きな相違点を理解し構文の仕組みから学びはじめる。教材文や模範文を使って基礎文法文型を中心に勉強し読み書きを合わせて授業を進める。

■到達目標（学修成果）

常用語彙と文法文型を操って中国語構文の組み立てができるようにする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語（総合）Ⅰ】は卒業認定に必要な教養科目の1つである。将来の社会に向かって語学を操り、様々な適応力を可能にすることを培い社会人が持つべき豊かな言語表現力を身に付けるようにめざす。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内と授業外で完成した平常小テストを学期末に返却して総合まとめ及びセルフチェックを行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

『改定新版 中文課本 基礎編』竹島金吾 著 発行所 金星堂

■参考文献

学校附属の図書館にある中国語辞書類や中国語に関連する書籍、週刊新聞『中文導報』などを利用する。

■オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～17:00 研究棟6036室

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 盧	文の構成法の基礎Ⅰ	復習:中国語のスペリング練習Ⅰ	30分
2回 盧	文の構成法の基礎Ⅱ	復習:中国語のスペリング練習Ⅱ	30分
3回 盧	文的構成する成分:1.形態素、2.単語	復習:中国語のスペリング練習Ⅲ	30分
4回 盧	3.フレーズ、4.短文	予習:教科書の第1課、第2課の読解内容	35分
5回 盧	文の分類:1.表現機能による分類	復習:第1課、第2課の教科書ページ練習問題	40分
6回 盧	①平叙、②疑問文、③命令文、④感嘆文、	予習:第3課、第4課の読解内容	35分
7回 盧	2.構造による分類	復習:第3課、第4課の教科書ページの練習問題	40分
8回 盧	①主述文、②非主述文、	予習:第5課、第6課の読解内容	35分
9回 盧	3.述語の性質による分類	復習:第5課、第6課の教科書ページ練習問題	40分
10回 盧	①動詞述語文、②形容詞述語文、	予習:第7課、第8課の読解内容	35分
11回 盧	③形容詞述語文、④動詞述語文、	復習:第7課、第8課の教科書ページ練習問題	40分
12回 盧	文の基礎構文の活用	予習:第9課、第10課の読解内容	35分
13回 盧	文の基礎構文の応用	復習:第9課、第10課の教科書ページ練習問題	40分
14回 盧	前期内容の総合まとめⅠ	総合まとめの所定練習問題	50分
15回 盧	前期内容の総合まとめⅡ	総合セルフチェック	60分

中国語（総合）Ⅱ

盧 繁華

服飾文化学科

1年

後期

選択必修（2単位 講義）

■授業の方針・概要

中国語総合Ⅱ授業の前半は中国語の構文に必要な品詞、語彙と文法項目を確実に把握して、授業の後半は中国語の文章力を身につけるための中国語と日本語の双向翻訳のトレーニングを行って授業を進める。

■到達目標（学修成果）

文法文型をしっかりと学ぶことを通して中国語文の構成や翻訳ができるようにする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語（総合）Ⅱ】は【中国語（総合）Ⅰ】と併せて、卒業認定に必要な教養科目である。将来の社会に向かって語学を操り、様々な適応力を可能にすることを培い社会人が持つべき豊かな言語表現を出来るようにめざす。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

平常授業内と授業外の小テストを学期末でまとめて返却して期末総合テストに参考する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

『改定新版 中文課本 基礎編』 竹島金吾 著 発行所 金星堂

■参考文献

学校の附属図書館にある中国語辞書類や中国語の書籍、週刊新聞『中文導報』などを利用する。

■オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～17:00 研究棟6036室

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 盧	ウォーミングアップ、前学期に学んで内容を復習	復習:前期の既習文型文法の復習問題	45分
2回 盧	中国語の二大品詞、実詞と虚詞の概念	予習:第11課の読解練習	30分
3回 盧	実詞:名詞、動詞、形容詞、数量詞の文法的機能	復習:第11課の教科書ページ問題、所定問題	40分
4回 盧	虚詞:副詞、助詞、介詞、接続詞の修飾的作用	予習:第12課の読解練習	30分
5回 盧	品詞と文の関連性と働き	復習:第12課の教科書ページ問題、所定問題	40分
6回 盧	常用フレーズ	予習:第13課の読解練習	30分
7回 盧	構文機能その一、 1.主語、2.述語、3.目的語	復習:第13課の教科書ページ問題、所定問題	40分
8回 盧	4.定語、5.状語、6.補語	予習:第14課の読解練習	30分
9回 盧	構文機能その二、 1.特殊な動詞述語文	復習:第14課の教科書ページ問題、所定問題	40分
10回 盧	2.是……的の文	予習:第15課の読解練習	30分
11回 盧	3.疑問文と反語文	復習:第15課の教科書ページ問題、所定問題	40分
12回 盧	4.比較文	予習:第16課の読解練習	30分
13回 盧	複文の分類、その特徴	復習:第16課の教科書ページ問題、所定問題	40分
14回 盧	後期内容の総合まとめⅠ	後期内容の総合まとめ練習	50分
15回 盧	後期内容の総合まとめⅠ	セルフチェック	50分

中国語（会話）Ⅰ

盧 繁華

服飾文化学科

1年

前期

選択必修（2単位 講義）

■授業の方針・概要

中国語発音の特徴とローマ字表記規則から学びはじめ、会話に必要な語彙や規範的なフレーズや基礎語句を併せて学ぶ。授業は聞く、話す、書くなどの形式で進める。

■到達目標（学修成果）

正しい発音をマスターすることを到達目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語会話Ⅰ】は卒業認定に必要な教養科目の1つである。将来の社会に向かって語学を操り、様々な適応力を可能にすることを培い社会人が持つべき豊かな言語表現力を身に付けることをめざす。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内と授業外で完成した平常小テストを学期末に返却して総合まとめと期末テストを行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

『改定新版 中文課本 基礎編』竹島金吾 著 発行所 金星堂

■参考文献

学校附属図書館にある中国語辞典類や中国語書籍、週刊新聞『中文導報』などを利用する。

■オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～17:00 研究棟6036室

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 盧	中国語の発音のしくみ	復習：母音・子音の発音練習	30分
2回 盧	中国語の表記法、アルファベットの認識	復習：複合母音の発音練習	30分
3回 盧	中国語の読み方、スペリングの規則	復習：鼻母音の発音練習	30分
4回 盧	頻繁に使う日常挨拶の言葉、人称代名詞	予習：課本の第1課、第2課の音声練習	35分
5回 盧	名詞述語文（Aは何だ）	復習：第1課、第2課の教科書ページ聴解練習	40分
6回 盧	中国語の肯定文・否定文・疑問文	予習：課本の第3課、第4課の会話練習	35分
7回 盧	反復疑問文の文型特徴	復習：第3課、第4課の教科書ページ聴解練習	40分
8回 盧	数と年・月・日・時刻の言い方	予習：課本の第5課、第6課の会話練習	35分
9回 盧	動詞述語文（主語Aはどうする）	復習：第5課、第6課の教科書ページ聴解練習	40分
10回 盧	形容詞述語文（主語Aはどうだ）	予習：課本の第7課、第8課の会話練習	35分
11回 盧	存在を表わす文	復習：第7課、第8課の教科書ページ聴解練習	40分
12回 盧	場所や方向について言葉	予習：課本の第9課、第10課の会話練習	35分
13回 盧	主述述語文（AのBは何だ / AはBがどうだ）	復習：第9課、第10課の教科書ページ聴解練習	40分
14回 盧	前期内容の総合まとめⅠ	前期内容の総合まとめ聴解練習	50分
15回 盧	前期内容の総合まとめⅡ	総合セルフチェック	60分

中国語（会話）Ⅱ

盧 繁華

服飾文化学科

1年

後期

選択必修（2単位 講義）

■授業の方針・概要

常用語彙や文型などを増やしてリスニング・シャドーイングという練習方法で正しい発音を把握する。聞く力、会話力を身につけるために語彙とフレーズを暗誦するなどの方法で授業を進める。

■到達目標（学修成果）

中国語ができる限り聞き取れる、話せる能力を伸ばすことを目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語(会話)Ⅱ】は【中国語(会話)Ⅰ】と併せて、卒業認定に必要な教養科目である。将来の社会に向かって語学を操り、様々な適応力を可能にすることを培い社会人が持つべき豊かな言語表現が出来ることをめざす。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

平常授業内と授業外で完成した課題を学期末に返却して期末の総合まとめとセルフチェックに参考にする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

『改訂新版 中文課本 基礎編』 竹島金吾 著 発行所 金星堂

■参考文献

学校附属図書館にある中国語辞書類や中国語書籍、週刊新聞『中文導報』などを利用する。

■オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～17:00 研究棟6036室

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 盧	発音のウォーミングアップ、前期会話内容の復習	復習：母音子音の正確な発音のチェック	30分
2回 盧	常用介詞の用法Ⅰ	復習：既習会話、所定練習	30分
3回 盧	常用介詞の用法Ⅱ	予習：課本の第11課会話部分	35分
4回 盧	動詞連用文Ⅰ	復習：第11課の聴解練習問題	40分
5回 盧	動詞連用文Ⅱ	予習：課本の第12課会話部分	35分
6回 盧	動詞連用文Ⅲ	復習：第12課の聴解練習問題	40分
7回 盧	動作の時点や期間の言い回し	予習：課本の第13課会話部分	35分
8回 盧	動作の回数と目的語	復習：第13課の聴解練習問題	40分
9回 盧	動作の完了形	予習：課本の第14課会話部分	35分
10回 盧	動作の方向を示す	復習：第14課の聴解練習問題	40分
11回 盧	三大構造助詞の用法	予習：課本の第15課会話部分	35分
12回 盧	二重目的語	復習：第15課の聴解練習問題	40分
13回 盧	比較文の表現	復習：所定の読み物	45分
14回 盧	後期内容の総合まとめⅠ	所定のまとめ聴解問題	55分
15回 盧	後期内容のセルフチェック	セルフチェック	60分

日本語 I

銭 陶緯

服飾文化学科

1年

前期

選択必修 (4単位 講義)

■授業の方針・概要

大学で学ぶために必要な日本語力を習得する。話す活動を中心にした授業を行うので、積極的に予習と復習をすることを求める。日本語Iに関しては、専門用語を学び、初級文法の復習定着及びその運用能力の向上を目指す。また、読解と対話のタスクを通じて、日本語力を高めると同時にテーマについての理解力と思考力を養成する。

■到達目標 (学修成果)

専門用語を学び、講義や発表を理解する力を高める。習得した文法事項を使い、自分の意見をまとめ、発表やディスカッションができるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目の中の外国語選択必須科目で、また、グローバル人材としての日本語による円滑なコミュニケーション能力を養い、異文化理解力、豊かな感性、表現力を涵養することを目指している。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

通常の授業内で返却・解説します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

『JLPT文法N3ポイント & プラクティス』 著者：斎藤明子・田川麻央・森田亮子 等 出版社：スリーエーネットワーク
『タスクベースで学ぶ日本語 中級1』 著者：国際基督教大学教養学部日本語教育課程 出版社：スリーエーネットワーク

■参考文献

必要に応じて提示します。

■オフィスアワー・研究室

第1回の授業で説明します。

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	ガイダンス 【語彙・文法知識】専門用語。スポーツクラブに入会する。	【予習】 シラバスを読む。 【復習】 授業に必要なものを準備する。	30分
2回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。友達をお花見に誘う。 【対話】 習い事は役に立つ? ①	【予習】 文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
3回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。友達とお花見を計画する。 【対話】 習い事は役に立つ? ②	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
4回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。電車が遅れる。 【対話】 習い事は役に立つ? ③	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 「文型・表現」練習シート	60分
5回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。これは雑誌の占いだ。 【対話】 漢字・平仮名・片仮名、どれで書く? ①	【予習】 文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
6回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。留学した理由を話す。 【対話】 漢字・平仮名・片仮名、どれで書く? ②	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
7回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。インターネットでの買い物 【対話】 漢字・平仮名・片仮名、どれで書く? ③	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 「文型・表現」練習シート	60分
8回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。カメラを修理に出します。 【対話】 昔話の世界を知ろう①	【予習】 文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
9回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。カジュアルな表現と敬語 【対話】 昔話の世界を知ろう②	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
10回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。友達に授業のお願いをする。 【対話】 昔話の世界を知ろう③	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 「文型・表現」練習シート	60分
11回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。友達を相撲に誘う。 【対話】 旅の計画を立ててみよう①	【予習】 文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
12回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。レトルトカレーを温める。 【対話】 旅の計画を立ててみよう②	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
13回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。職場で休みの希望を言う。 【期末試験の説明・復習】	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 期末試験の準備	60分
14回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。台風の準備をする。 【対話】 旅の計画を立ててみよう③	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 「文型・表現」練習シート	60分
15回 各自	期末試験	【予習】 期末試験の準備	90分

日本語Ⅱ

銭 陶緯

服飾文化学科

1年

後期

選択必修 (4単位 講義)

■授業の方針・概要

日本語Ⅱに引き続き、大学で学ぶために必要な日本語力を習得する。話す活動を中心にした授業を行うので、積極的に予習と復習をすることを求める。日本語Ⅱに関しては、専門用語をさらに学び、中級文法の定着及びその運用能力の向上を目指す。また、対話、発表などのタスクを通じて、日本語力を高めると同時にテーマについての思考力と表現力を養成する。

■到達目標（学修成果）

高度な専門用語を学び、講義や発表を理解する力をさらに高める。習得した文法事項を使いこなす、表現力とともにレポートや論文を書くための基礎的な日本語力を身に付ける。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目の中の外国語選択必須科目で、また、グローバル人材としての日本語による円滑なコミュニケーション能力を養い、異文化理解力、豊かな感性、表現力を涵養することを目指している。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

通常の授業内で返却・解説します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

『JLPT文法N3ポイント＆プラクティス』 著者：斎藤明子・田川麻央・森田亮子 等 出版社：スリーエーネットワーク
『タスクベースで学ぶ日本語 中級1』 著者：国際基督教大学教養学部日本語教育課程 出版社：スリーエーネットワーク

■参考文献

必要に応じて提示します。

■オフィスアワー・研究室

第1回の授業で説明します。

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 各自	ガイダンス 【語彙・文法知識】専門用語。これは化粧品品の宣伝だ。	【予習】 シラバスを読む。 【復習】 授業に必要なものを準備する。	30分
2回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。電気屋でパソコンを買う 【対話】 違いについて考えてみよう。①	【予習】 文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
3回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。お勧めの観光地を聞く 【対話】 違いについて考えてみよう。②	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
4回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。接続詞と副詞 【対話】 違いについて考えてみよう。③	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 「文型・表現」練習シート	60分
5回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。法律相談所に電話をかける。 【対話】 音楽にはどんな力がある？①	【予習】 文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
6回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。これは映画の広告だ。 【対話】 音楽にはどんな力がある？②	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
7回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。言葉の意味を調べる。 【対話】 音楽にはどんな力がある？③	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 「文型・表現」練習シート	60分
8回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。先生に年賀状を送る。 【対話】 日本から世界へ①	【予習】 文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
9回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。車の事故があったそうだ。 【対話】 日本から世界へ②	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
10回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。新聞社に私の意見を送る。 【対話】 日本から世界へ③	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 「文型・表現」練習シート	60分
11回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。スピーチをする。 【対話】 プロジェクト①	【予習】 文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
12回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。部屋を借りる。 【対話】 プロジェクト②	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
13回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。健康診断を受ける。 【期末試験の説明・復習】	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 期末試験の準備	60分
14回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。お世話になった人にお礼を 【対話】 プロジェクト③	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 「文型・表現」練習シート	60分
15回 各自	期末試験	【予習】 期末試験の準備	90分

生涯学習概論

柄越 祥子

服飾文化学科 1年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

学芸員という専門職を目指すにあたり、「生涯学習」について、学習者の学びを援助、促進するという視点から教育学的に考えていく授業です。その上で、生涯学習の現場に繋がっていくような、政策理念や制度の知識にも触れていきます。授業ではフィールドワークやグループディスカッションなども取り入れていきます。また、毎回授業の終わりに質問表の提出をしていただきます。

■到達目標（学修成果）

生涯学習に関する歴史や様々な基礎的な理論と、現代の日本における生涯学習の現状を理解することを一つ目の目標とします。そして、そのような知識を基礎として、博物館やそこで働く学芸員の責務について考えられるようになることを二つ目の目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、卒業要件科目ではありません。国家資格「学芸員」を取得するための学芸員課程の必修科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内でのまとめ及び学内システムを利用して試験のフィードバックを行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

香川正弘・鈴木真理・永井健夫編『よくわかる生涯学習・改訂版』ミネルヴァ書房

■参考文献

適宜授業で指示します。

■オフィスアワー・研究室

後期 金曜日 教務課 ・ 土曜日 教務課

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 柄越	オリエンテーション・生涯学習とは何か（定義）	予習：シラバスに目を通しておく。	30分
2回 柄越	生涯学習の現代的意義（ディスカッション）	復習：教科書の指摘した箇所を読み、生涯学習の現代的意義の確認をする。	30分
3回 柄越	発達理論と生涯学習	復習：発達理論の確認をする。	30分
4回 柄越	生涯学習の学習内容①	復習：教科書の指摘した箇所を読み、生涯学習の内容について確認する。	30分
5回 柄越	生涯学習の学習内容②	復習：生涯学習の学びとはなにか、まとめる。	45分
6回 柄越	生涯学習の形態・方法	復習：生涯学習の方法について確認する。	30分
7回 柄越	生涯学習の社会的位相	復習：教科書の指摘した箇所を読んで、「解放」の生涯学習について確認する。	30分
8回 柄越	施設による生涯学習支援①	復習：社会教育施設について確認し、フィールドワークの準備をする。	30分
9回 柄越	公共施設での生涯学習支援の実践①（フィールドワーク）	予習：施設について資料を確認し、見学ポイントの整理をする。	30分
10回 柄越	公共施設での生涯学習支援の実践②（フィールドワーク・グループワーク）	復習：フィールドワークレポート【1】の作成。	70分
11回 柄越	施設による生涯学習支援②（グループワーク）	復習：教科書の指摘した箇所を読み、生涯学習の施設のまとめを行う。	30分
12回 柄越	民間による生涯学習支援	復習：教科書の指摘した箇所を読み、民間と行政の生涯学習支援の特徴について考える。	30分
13回 柄越	行政による生涯学習の振興	復習：フィールドワークレポート【2】の作成。	60分
14回 柄越	授業の振り返りとレポート課題のフィードバック	復習：これまでの授業内容を整理する。	90分
15回 柄越	まとめ	予習：小テストの見直し。復習：授業の総括。	60分

博物館概論

丸山 憲子

服飾文化学科 1年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

学芸員課程における博物館学最初の講義です。博物館について、学芸員について、博物館学について概説していきます。博物館をめぐる法制、機能、歴史等、博物館に関する基礎知識から、現代社会における博物館の存在意義や博物館の今日的課題について学習していきます。

■到達目標（学修成果）

- ・博物館についての基礎的知識の習得
- ・博物館学の理論・方法論の理解と習得
- ・学芸員としての基本的知識の習得
- ・「博物館」をめぐる問題意識の向上

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員になるための資格取得（大学を卒業して学士の学位を取得するとともに得られる資格）のために、文部科学省令の定める大学で習得するべき科目の一つ。卒業要件科目ではありません。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

小テスト・試験後の解説

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

授業時に指示します。

■参考文献

随時、紹介します。

課題内容に即した資料プリントを配布します。

■オフィスアワー・研究室

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。

■備考

博物館に関する時事問題を随時取り上げます。

学生の興味・関心に応じて弾力的に対応します。

普段から博物館見学、博物館に関する情報収集等積極的に行いましょう。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 丸山	オリエンテーション（現代社会における博物館の概要・学芸員課程の概要の説明・授業計画）	予習：シラバス（学芸員課程部分）を読んでおくこと。	30分
2回 丸山	博物館法等日本における博物館に関する法制について学習する。	予習：博物館法を読んでおくこと。 復習：関係法規を整理しておくこと	60分
3回 丸山	博物館法による登録博物館等の分類はじめ、様々な現代博物館の分類について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
4回 丸山	博物館における資料について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
5回 丸山	博物館の機能について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
6回 丸山	学芸員の職務について学習する。 これまでのまとめ（小テスト）	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
7回 丸山	博物館の歴史を世界的観点から学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
8回 丸山	日本における博物館の歴史①を学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
9回 丸山	日本における博物館の歴史②を学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
10回 丸山	博物館学史①について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
11回 丸山	博物館学史②を学習する。 博物館史・博物館学史のまとめ（小テスト）	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
12回 丸山	博物館経営について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
13回 丸山	博物館設立の流れや経緯について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
14回 丸山	現代博物館をめぐる社会的問題について学習する。	復習：配布資料の読み返し。全体の振り返り	60分
15回 丸山	現代博物館の課題と今後の展望について考察する。 総まとめ	復習：全体の振り返り	60分